

平成3年版

数字で見る図書館活動

調布市立図書館

図書館の自由に関する宣言

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する。
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する。
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る。
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

社団法人 日本図書館協会

(1979年5月30日総会決議 〈改訂〉 主文)

図書館員の倫理綱領

この倫理綱領は、「図書館の自由に関する宣言」によって示された図書館の社会的責任を自覚し、自らの職責を遂行していくための図書館員としての自律的規範である。

(図書館員の基本的態度)

第1 図書館員は、社会の期待と利用者の要求を基本的なよりどころとして職務を遂行する。

(利用者に対する責任)

第2 図書館員は利用者を差別しない。

第3 図書館員は利用者の秘密を漏らさない。

(資料に関する責任)

第4 図書館員は図書館の自由を守り、資料の収集、保存および提供につとめる。

第5 図書館員は常に資料を知ることにつとめる。

(研修につとめる責任)

第6 図書館員は個人的、集团的に、不断の研修につとめる。

(組織体の一員として)

第7 図書館員は、自館の運営方針や奉仕計画の策定に積極的に参画する。

第8 図書館員は、相互の協力を密にして、集団としての専門的能力の向上につとめる。

第9 図書館員は、図書館奉仕のため適正な労働条件の確保につとめる。

(図書館間の協力)

第10 図書館員は図書館間の理解と協力につとめる。

(文化創造への寄与)

第11 図書館員は住民や他団体とも協力して、社会の文化環境の醸成につとめる。

第12 図書館員は、読者の立場に立って出版文化の発展に寄与するようつとめる。

日本図書館協会は、わが国の図書館の現状にかんがみこの倫理綱領を作成し、提唱する。本協会はこの綱領の維持発展につとめると共に、この綱領と相いれない事態に対しては、その改善に向けて不断に努力する。

社団法人 日本図書館協会

(1980年6月4日総会決議)

平成 3 年版

数字で見る図書館活動

目 次

I 調布市の概況	1
1 人口	1
2 予算	4
II 図書館の概況	9
1 運営方針	9
2 平成2年度 図書館活動	9
3 施設概況	12
4 図書館配置図	13
III 各館の概要	14
IV 各館の事業	20
1 子ども対象の事業	20
2 成人対象の事業	23
V 蔵書の状況	24
VI 利用の状況	28
1 登録	28
2 市内小中学生の登録状況	36
3 貸出	43
VII ハンディキャップサービス	48
1 朗読サービス	48
2 点訳サービス	51
3 大型活字体・拡大写本サービス	51
4 子どもへのサービス	51
5 PR活動	52
6 ボランティアの養成とボランティアグループ	52
VIII 集会・学習活動	53
1 集会・学習活動の状況	53
2 行事	53
3 第19回図書館まつり	55
4 調布ブッククラブ	56
5 地域文庫	63
IX 視聴覚ライブラリー	64
1 事業	64
2 視聴覚教材・機材の利用状況	65
X 将来計画と新中央図書館構想	68
XI 資料	74
1 運営組織	74
2 分掌事務	74
3 開館日と休館日	75
4 開館日数と開館時間	75
5 組織図	76
6 年度別職員数の推移	76
XII 年表	77

I 調布市の概況

昭和30年4月、調布町と神代町が合併して調布市が誕生した。

この地域では、多摩川の清流を利用して、昔から布づくりが盛んに行われていた。この布は税である調として、朝廷に納められ、調布（たつくり）の名で呼ばれた。調布の名称はこのように布の産地であったことと、律令制度による調として布が納められたことに由来している。

調布市は、東京都のほぼ中央部、多摩地区の南東部に位置し、都心部へ約24kmの距離にある。市域の広がり、東西7km、南北5.7km、面積21.51km²で、東京都全体の約1%にあたる。市の東西方向には京王線と甲州街道が走り、ほぼ北東から西南にかけては中央自動車道が横断している。副都心新宿へも、東へ15km、京王線の特急で15分という典型的な近郊住宅都市である。

地形は、北に向かって高台となる段丘で、武蔵野台地と立川台地に広がっている。土地の高度は神代植物公園北方の台地が最も高く海拔57m、南の多摩川沿いの染地が最も低く、海拔24mとなっている。



1 人 口

平成3年1月1日現在、調布市には192,018人が住み、人口密度8,927人/km²で過密状態である。増減を見ると、近年はほとんど自然増だけで横ばい状態であるが、転入転出が激しく、2年度は合わせて年間34,000人にも達している。また、年齢階層別の人口の動きでは、15歳から64歳までは変化が少ないが、0歳から14歳までは減少し、逆に高齢人口は着実に増加している。平成3年1月1日現在、65歳以上の人は17,341人で総人口の9%に達しており、調布市も高齢化社会への移行が着実に進んでいることがわかる。

調布市の人口推移表(表I-1)

(数値は1月1日現在)

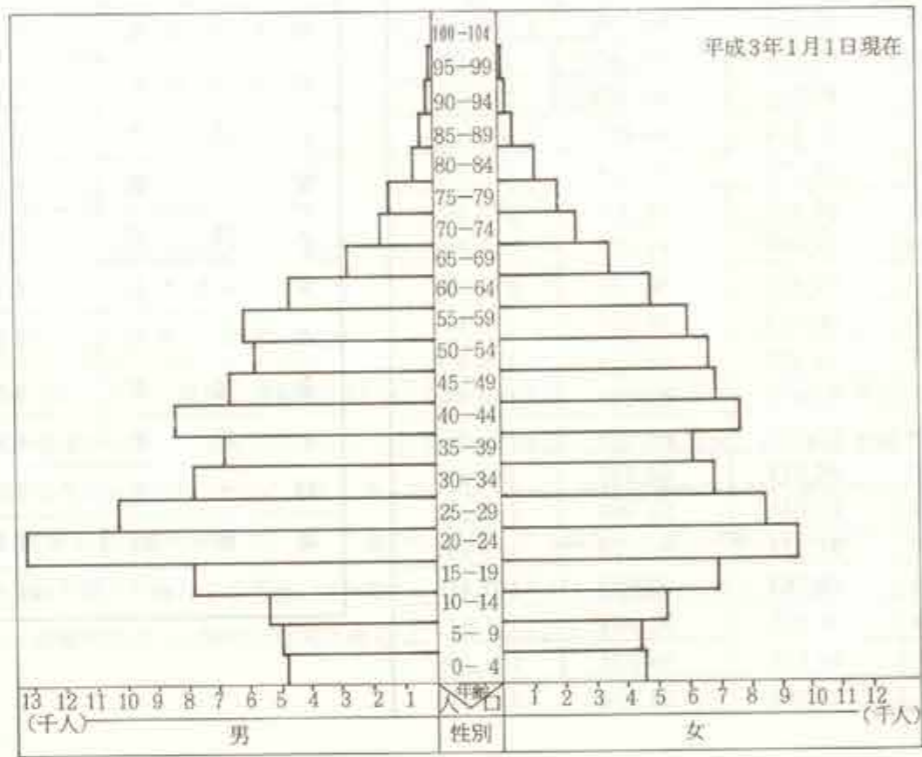
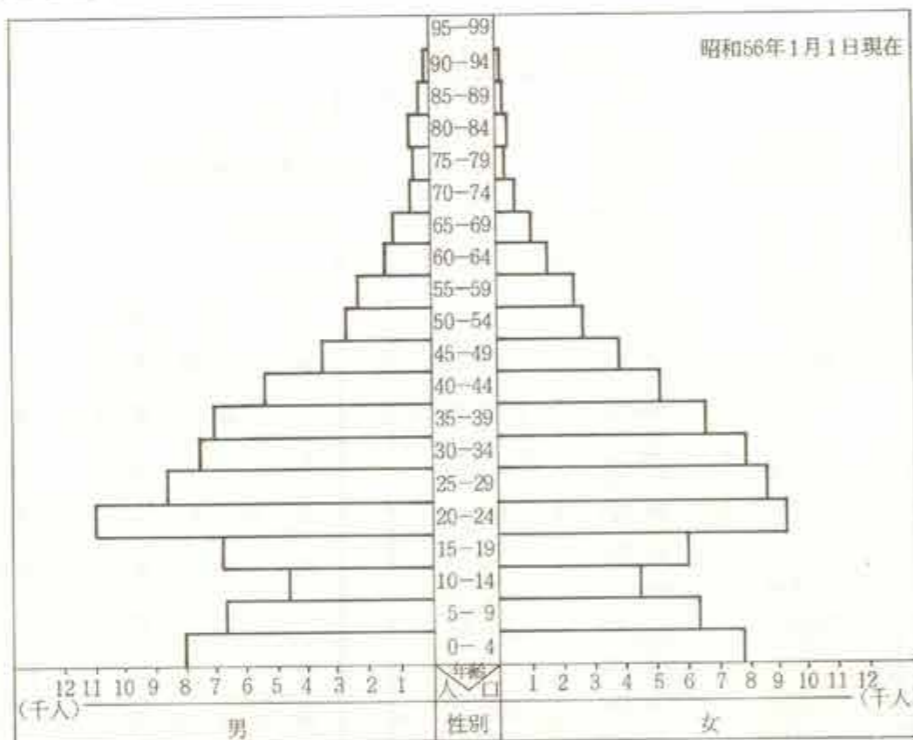
	男	女	合計
S 30	22,755	22,335	45,090
31	23,816	23,255	47,071
32	25,783	25,208	50,991
33	27,594	26,904	54,498
34	30,584	29,315	59,899
35	32,385	31,910	64,295
36	35,425	34,369	69,794
37	39,107	36,760	75,867
38	42,854	40,634	83,488
39	48,278	45,566	93,844
40	52,736	50,247	102,983
41	61,145	58,499	119,644
42	67,434	65,024	132,458
43	70,951	68,860	139,811
44	74,545	71,992	146,537
45	78,250	75,259	153,509
46	81,417	77,609	159,026
47	83,201	79,243	162,444
48	86,514	82,116	168,630
49	88,094	83,187	171,281
50	87,684	82,922	170,606
51	87,819	83,613	171,432
52	88,272	84,338	172,610
53	89,305	85,200	174,505
54	89,806	85,225	175,031
55	89,655	85,035	174,690
56	90,612	85,537	176,149
57	91,863	86,951	178,814
58	92,971	87,760	180,731
59	93,789	88,153	181,942
60	94,914	89,339	184,253
61	96,645	90,599	187,244
62	97,977	91,770	189,747
63	98,757	92,653	191,410
64	98,830	92,981	191,811
H 2	98,678	93,031	191,709
3	98,584	93,434	192,018

町別人口(表I-2)

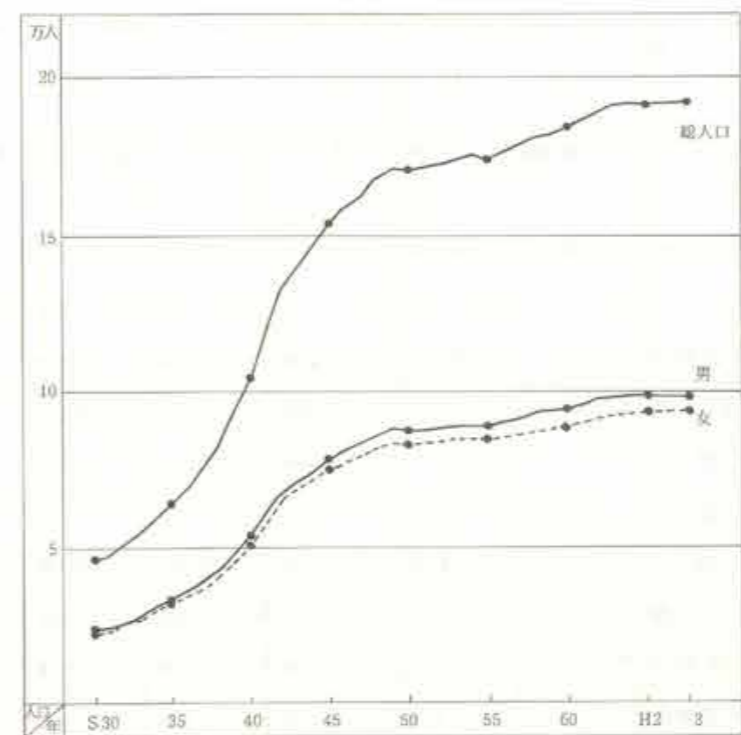
(H.3.1.1現在)

町 名	人 口
飛田給(野水・西町を含む)	6,388
上 石 原	8,370
下 石 原	8,225
多 摩 川	11,553
富 士 見 町	9,658
小 島 町	8,207
布 田	9,551
調 布 ヶ 丘	6,956
国 領 町	20,084
八 雲 台	2,748
染 地	15,155
深 大 寺 元 町	4,655
深 大 寺 北 町	5,662
深 大 寺 東 町	9,295
深 大 寺 南 町	3,158
佐 須 町	4,864
柴 崎	6,922
入 間 町	7,002
東 っ つ じ ヶ 丘	4,719
西 っ つ じ ヶ 丘	13,911
若 葉 町	4,898
仙 川 町	4,894
緑 ヶ 丘	7,603
菊 野 台	7,540
合 計	192,018

年齢別男女別人口構成 (図I-1)



調布市の人口の推移 (図I-2)



2 予 算

調布市は、平成2年度からスタートした基本計画に基づく計画事業を中心に予算化することとし、高齢化社会を展望した福祉の充実や生涯学習社会を見据えた教育施設、個性豊かな調布文化の創造などを重点課題としている。特に「みち」、「みどり」、「ごみ」の三つの「み」に象徴される都市基盤、都市環境、アメニティーを引き続き重点施策の基本としている。

図書館費について見ると、平成2年度決算額は5億1,110万円で、前年度に比べて1億7,313万円増加となっている。これは、改修工事を実施した館が前年度は1館であったのに対し、本年度は緑ヶ丘分館及び富士見分館の2館の費用及び新中央館用図書をはじめとする資料購入費が増加したためである。

また、平成3年度当初予算額は4億2,759万円で、前年度当初予算額に比べて1億1,365万円減額となっている。これは、大規模改修工事が終了したことによる工事請負費が大幅減少したためである。

次に、各項目別について見ると、各分館の4月からの土・日曜日の午前開館の実施による経費414万円、図書購入費2,000万円、3年10月から一部電算化による稼働経費260万円がそれぞれ増額されたほか、図書購入冊数の増加に伴って図書装備委託料も増額となっている。

年度別決算額の推移 (表1-3)

科目	年度							
	S40	41	42	53	54	55	56	
市費総額	1,729,966	2,111,464	2,355,029	21,746,176	24,331,014	26,876,122	30,229,207	
指数		100	112	1,030	1,152	1,273	1,432	
教育費	468,770	486,168	574,563	4,532,321	4,647,420	5,126,437	6,195,692	
指数		100	118	932	956	1,054	1,274	
市費に占める割合		23.0%	24.4%	20.8%	19.1%	19.1%	20.5%	
図書館費	18,960	5,914	5,946	83,015	134,977	91,971	275,630	
(図書費)		2,044	2,946	22,004	55,242	35,314	58,291	
(建設費)	17,348	0	0	0	0	0	151,548	
(その他)		3,870	3,000	61,011	79,735	56,657	65,791	
指数		100	101	1,404	2,282	1,555	4,661	
市費に占める割合		0.3%	0.3%	0.4%	0.6%	0.3%	0.9%	
教育費に占める割合		1.2%	1.0%	1.8%	2.9%	1.8%	4.4%	
人口	119,644	132,458	139,811	175,031	174,690	176,149	178,814	
指数		100	106	132	132	133	135	
人口一人当り	市費	14,459	15,940	16,844	124,242	139,281	152,576	169,054
	教育費	3,918	3,670	4,110	25,894	26,604	29,103	34,649
	図書館費	158	45	43	474	773	522	1,541
	図書購入費		15	21	126	316	200	326
図書館分館開館時		中央				染地		

書籍平均単価		885	883	2,386	2,483	2,635	2,754
市書籍平均単価		1,212	630	1,089	1,348	1,270	1,315

- 図書館費に職員の給与等件費は含まれていない。
- 人口は1月1日現在。
- 40、41年度は開館準備年度と開館年度にあたる。
- 44年度国領分館開館、45年度つつじヶ丘分館開館、46年度深大寺・神代分館開館、47年度宮の下分館開館、49年度富士見・緑ヶ丘分館開館、50年度若葉分館開館。
- 書籍平均単価は「出版年鑑」(出版ニュース社)による。

(単位：千円)

	57	58	59	60	61	62	63	H1	2
	31,855,245	32,295,852	34,544,398	37,006,648	37,656,662	42,240,488	46,747,909	52,555,125	55,994,720
	1,509	1,530	1,636	1,753	1,783	2,001	2,214	2,489	2,652
	4,802,891	5,259,307	6,000,325	7,249,014	5,948,019	6,089,547	6,618,625	6,718,605	7,603,677
	988	1,082	1,234	1,491	1,223	1,253	1,361	1,382	1,564
	15.1%	16.3%	17.4%	19.6%	15.8%	14.4%	14.2%	12.8%	13.6%
	127,283	120,476	176,760	156,042	178,534	215,231	328,991	337,973	511,108
	51,898	53,959	49,990	49,955	73,139	85,868	99,989	117,640	150,235
	0	0	49,350	0	0	0	0	0	0
	75,385	66,517	77,420	106,087	105,395	129,363	229,002	220,333	360,873
	2,152	2,037	2,989	2,639	3,019	3,639	5,563	5,715	8,642
	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%	0.5%	0.5%	0.7%	0.6%	1.0%
	2.7%	2.3%	2.9%	2.2%	3.0%	3.5%	5.0%	5.0%	6.4%
	180,731	181,942	184,253	187,244	189,747	191,410	191,811	191,709	192,018
	136	137	139	141	143	145	145	145	145
	176,258	177,506	187,484	197,639	198,457	220,681	243,719	274,140	291,611
	26,575	28,907	32,566	38,714	31,347	31,814	34,506	35,046	39,599
	704	662	959	833	941	1,124	1,715	1,763	2,662
	287	297	271	267	385	449	521	614	782
佐須				(資料 保存庫)					

(単位：円)

	2,712	2,740	2,751	2,833	2,521	2,449	2,496	2,609	2,764
	1,424	1,490	1,456	1,435	2,002	1,881	1,852	1,933	1,931

図書館費内訳表 (表1-4)

節・細節	61年度		62年度	
	決算額	%	決算額	%
賃金	2,604,390	1.46	2,611,437	1.21
報償費	4,995,592	2.80	6,798,496	3.16
旅費	268,570	0.15	664,720	0.31
一般需用費	34,708,029	19.44	35,461,333	16.48
食糧費	42,120	0.02	58,330	0.03
役務費	3,292,902	1.84	3,397,528	1.58
委託料	30,588,614	17.13	32,324,164	15.02
使用料及び賃借料	1,726,620	0.97	2,752,470	1.28
工事請負費	9,925,000	5.56	30,363,000	14.11
原材料費	129,480	0.07	92,994	0.04
備品購入費	90,089,352	50.46	100,561,863	46.72
(図書)	(73,138,752)	(40.96)	(85,868,053)	(39.90)
(機械器具)	(10,389,480)	(5.82)	(9,510,132)	(4.42)
(視聴覚教材)	(3,264,300)	(1.83)	(3,088,368)	(1.43)
(庁用器具)	(3,296,820)	(1.85)	(2,095,310)	(0.97)
負担金、補助及び交付金	61,600	0.04	61,600	0.03
補償、補填及び賠償金	93,374	0.05	74,000	0.03
公課費	8,800	0.01	8,800	0.00
合計	178,534,443	100	215,230,735	100

○ () 内は内訳。

(単位：円)

63年度		元年度		2年度		3年度当初予算
決算額	%	決算額	%	決算額	%	
2,726,772	0.83	8,193,408	2.42	8,742,360	1.71	9,324,000
8,511,175	2.59	13,197,228	3.91	13,797,940	2.70	20,023,000
830,910	0.25	859,360	0.25	572,940	0.11	897,000
40,127,250	12.20	44,269,948	13.10	43,229,310	8.46	50,362,000
55,100	0.02	69,709	0.02	76,071	0.01	92,000
8,400,041	2.55	5,893,946	1.74	8,584,030	1.68	8,911,000
32,460,204	9.87	54,840,386	16.23	82,021,516	16.05	76,758,000
4,122,648	1.25	5,143,659	1.52	5,205,814	1.02	31,882,000
112,045,000	34.06	69,378,740	20.53	168,503,880	32.97	38,110,000
98,388	0.03	0	—	0	—	0
119,543,013	36.33	136,050,820	40.26	180,303,378	35.28	191,114,000
(99,988,928)	(30.39)	(117,640,120)	(34.81)	(150,235,228)	(29.40)	(170,000,000)
(9,006,820)	(2.74)	(1,546,522)	(0.46)	(542,334)	(0.11)	(291,000)
(3,881,750)	(1.18)	(4,490,237)	(1.33)	(5,337,511)	(1.04)	(4,800,000)
(6,665,515)	(2.02)	(12,373,941)	(3.66)	(24,188,305)	(4.73)	(16,023,000)
61,600	0.02	66,100	0.02	61,600	0.01	66,000
0	—	0	—	0	—	30,000
8,800	0.00	8,800	0.00	8,800	0.00	9,000
328,990,901	100	337,972,104	100	511,107,639	100	427,578,000

II 図書館の概況

調布市立図書館は、昭和41年に開館して以来、資料の提供と各種事業の実施によって、図書館活動の充実を図ってきた。

また、身近な生涯教育の場として、分館網の整備にも取り組み、人口2万人に1館、半径800メートルに1館、2つの小学校区に1館を三原則として、現在、中央館を中心にして10分館が活動を行っている。

調布市立図書館網の中核機関として建設が計画されている新中央図書館は、市民からの要望も多く、平成6年度完成を目指して準備が進められている。

1 運営方針

図書館は、調布市基本計画の理念に基づき、社会の変化に応えるため、市民の生涯学習を支える社会教育活動を目指して、次の基本的な運営方針を設定している。

- (1) 市民の本拠として、気軽に立ち寄れる図書館づくりを目指し、自由に図書館サービスが受けられるように、その内容を充実してゆく。
- (2) 市民の要求を的確に受けとめると同時に、21世紀に向けて、積極的な図書館活動を目指す。
- (3) 子どもにより読書環境を整備するため、各館に独立した児童室を設けるとともに、あらゆる機会をとらえて児童に対するサービスを実施する。
- (4) 市民の身近なところで文化的事業を開催し、図書館資料の活用の拡大を図る。
- (5) 市民に対して充実した図書館サービスを保障するため、種々の機会をとらえて組織的に研修を行い、職員の能力の向上を図る。

以上の基本的な運営方針のもとに、図書館は、多様化するとともに質的に高度化する市民要求に即応できるサービスを実施する。また、地域における市民の自立した学習活動を積極的に援助するとともに、今日までの活動を基盤としてさらに努力を重ね、新しい時代にふさわしい図書館活動を実施する。

2 平成2年度 図書館活動

(1) 重点事業

ア 来館利用者サービスの充実

図書館に来館する利用者に対して、貸出、読書案内をはじめとして、読書相談、調査・研究のための援助をする等、サービスの充実に努めた。

- (ア) 予約、リクエストサービスの充実
- (イ) レファレンスサービスの充実

(ウ) 資料提供のための図書館相互協力体制の充実

イ 図書館業務の電算システム化

貸出・返却作業、資料管理等について、大量のデータを迅速に処理することにより図書館サービスを向上させるため、年次計画に基づき、平成3年度に中央館及び染地・佐須両分館で稼働させることを目指して、電算システム導入の準備を図った。

(ア) 電算システムの開発

- (イ) 中央館及び染地・佐須両分館の図書データの作成

ウ 新中央図書館準備計画の策定

平成7年4月に開館する予定の(仮称)市民文化プラザの中に新中央図書館が組み込まれて建設されることになっており、その時点で新たな図書館活動もいよいよ本格化する。図書館内部においても、それに向けて具体的な検討を進めた。

(ア) 図書館組織の拡充に向けての態勢づくり

- (イ) 新中央図書館用図書資料の整備
- (ウ) 映画資料を中心とした特殊コレクションの収集

エ 文化的事業の実施とサークルの育成

図書館活動を市民と連帯した活動にするため、読書啓蒙活動と並行して、市民の学習意欲と文化的要求を受けとめて積極的に援助し、育成した。また、図書館未利用者に対しても、集会活動を通じて積極的な働きかけを行った。

(ア) 講演会、講座等を中心とした文化的事業の実施

- (イ) 地域における読書会、学習サークルへの援助・協力
- (ウ) 読書週間、図書館まつり等の実施

オ 施設の改修・整備

快適な読書環境及び施設の利便性を確保するため、竣工後15年を目途に年次的に施設の改修を行い、建物の保全に努めた。さらに、老朽化した大型書架の取替えを行った。

(ア) 緑ヶ丘・富士見両分館の改修工事の実施

- (イ) 国領分館の空調設備改良工事・便所改修工事の実施
- (ウ) 国領・深大寺両分館のボイラー取替え工事の実施
- (エ) 国領・緑ヶ丘・富士見の各分館の大型書架の取替え

(2) 日常的事業

ア 蔵書の充実

- (ア) 新刊書を中心とした、市民のニーズにマッチした資料の選択と収集
- (イ) 参考図書及び各分野における専門的資料の収集
- (ウ) 郷土資料及び行政資料の収集

イ 各館事業の充実

各館では、資料の閲覧・貸出業務と並行して、次の業務を行った。

- ア) 幼児及び児童を対象とした事業（おはなし会等）の実施
- イ) 中学生を対象とした事業（中学生通信「ぶちねて便」の発行等）の実施
- ウ) 成人を対象とした事業（地域講演会、地域読書会等）の実施
- エ) 学校、幼稚園、保育園等における読書授業への協力
- オ) 団体、サークル等、他の機関との連携・協力
- カ) 「図書館だより」をはじめとする各種広報紙の発行等、広報活動の実施

ウ ハンディキャップサービスの充実

当面は視覚障害者に対するサービスに重点を置き、ボランティアの養成に取り組みつつ、朗読テープの作成や対面朗読・点訳サービス等を行った。

- ア) 初級点訳ボランティア養成講座の実施
- イ) 関係資料（録音図書、大型活字本等）の収集・整備
- ウ) 図書館利用に障害をもつ人との情報交換

エ 視聴覚ライブラリーの充実

集団学習をより効果的に推進するため、視聴覚機器及び教材を整備し、視聴覚教育活動の普及を図った。

- ア) 地域における映画会等への援助・協力
- イ) 視聴覚機器類の利用指導の実施
- ウ) 新着フィルム試写会等の実施
- エ) 16ミリ映写機操作講習会の実施

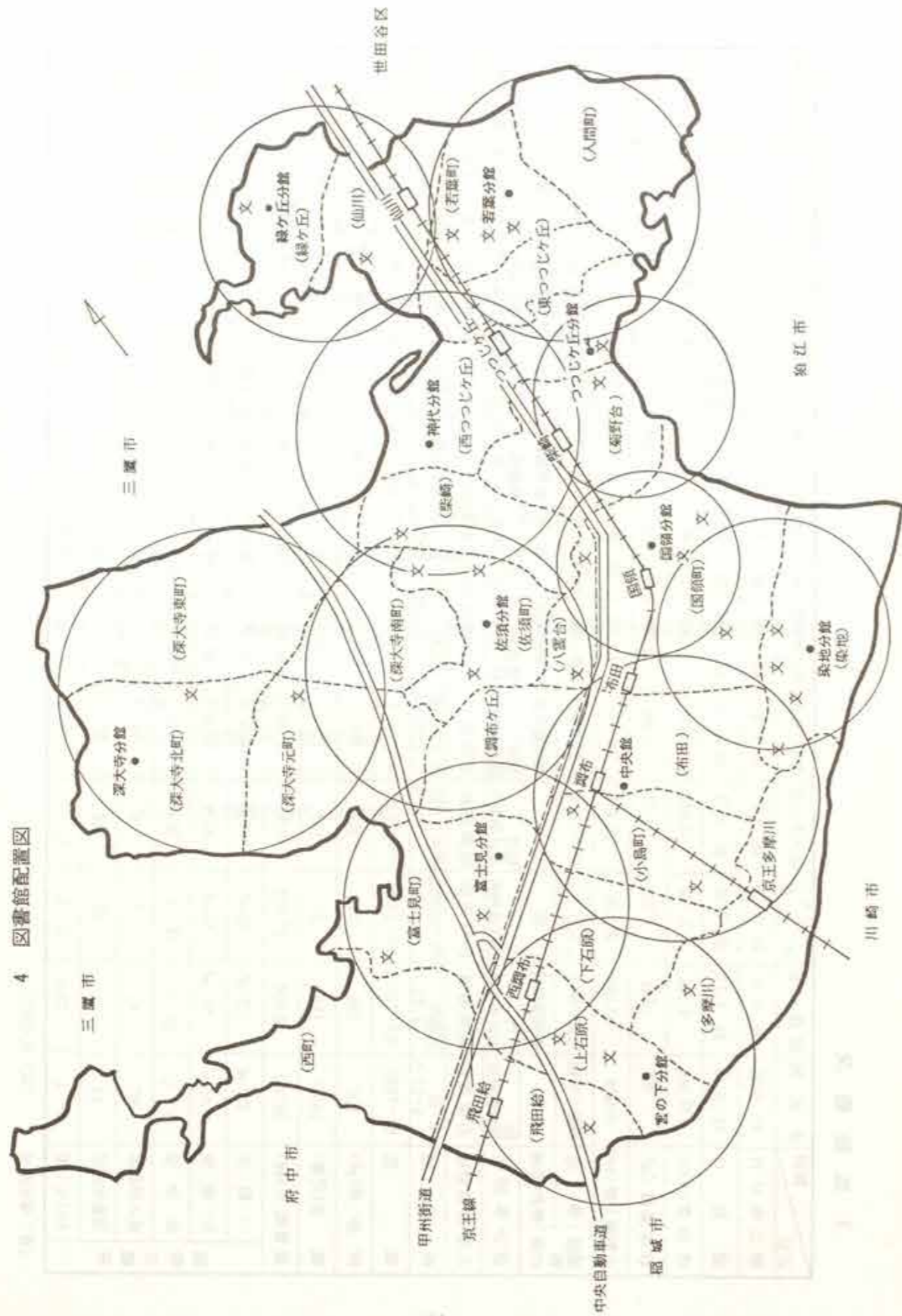
3 施設概況

平成3年8月1日現在

区分	館別	中央館	国領分館	つづしヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	資料保存庫
竣工年月日		41. 3. 31	44. 3. 31	45. 3. 28	46. 2. 28	46. 3. 31	47. 3. 31	49. 3. 31	50. 3. 31	55. 5. 19	57. 3. 31	60. 3. 15
開館日		41. 6. 10	44. 8. 14	45. 7. 20	46. 7. 24	46. 10. 1	47. 7. 24	49. 7. 20	見聞室50.4.12 成人室50.7.5	55. 6. 6	57. 7. 13	60. 4. 1
建設費(千円)		17,348	9,120	3,774	13,800	17,080	18,000	30,190	77,654	東京都負担	143,651	45,000
敷地面積(m ²)		586	1,544	270	824	1,986	1,780	800	879	1,644	2,166	1,072
土地購入費(千円)		市有地	53,100	借地	27,497	84,000	80,000	借地	市有地	借地	92,867	借地
建築物の構造		鉄筋2階建	鉄筋の階上	コンクリートブロック	鉄骨平家	鉄筋の階上	鉄筋の階上	鉄骨平家	鉄筋コンクリート2階建	鉄筋コンクリート3階建	鉄筋の階上	鉄骨平家
設計事務所		和	保井	和	保井	保井	保井	つかさ	和	和	和	和
工事請負会社		石原建設	高尾建設	内村建設	増岡建設	増岡建設	白石建設	田辺工務店	大栄建設	藤田建設	東海建設	久保工務店
所在地		布田	国領町	西つづしヶ丘	深大寺北町	西つづしヶ丘	上石原	緑ヶ丘	若葉町	染地	佐須町	上石原
電 話		81-7661	84-2000	85-2000	85-3350	85-0054	86-5798	3300-7672	3309-3411	88-8393	85-1306	87-2660
床面積(m ²)		626	324	114	257	364	342	336	516	369 ⁷⁹⁸ 71(共)	605	485
職員(司書)		15(8)	(3)	(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	(5)	(3)	(3)	(2)
蔵書能力(冊)		55,000	35,000	17,000	30,000	33,000	29,000	32,000	42,000	37,000	開架36,000 閉架50,000	200,000
施設概況		一般室	175 m ²	26 m ²	90 m ²	140 m ²	130 m ²	120 m ²	173 m ²	153 m ²	245 m ²	電動式書架室 260 m ²
		児童室	91 m ²	52 m ²	63 m ²	68 m ²	56 m ²	56 m ²	123 m ²	105 m ²	80 m ²	固定式書架室 200 m ²
		集会室	なし	なし	28 m ²	34 m ²	45 m ²	なし	51 m ²	なし	なし	
		成人用座席	40	3	12	24	12	20	36	12	24	
		児童用座席	23	18	16	21	20	17	24	12	12	
		おはなし室	20 m ²	なし	なし	25 m ²	18 m ²	20 m ²	32 m ²	なし	25 m ²	

(専) 専用部分 (共) 共用部分

4 図書館配置図



III 各館の概要

1 中央館

調布市布田4-17-5

電話 0424-81-7661

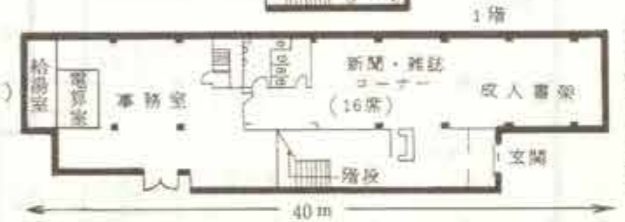
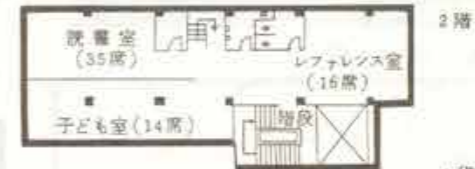
FAX 0424-81-7665

昭和41年6月10日開館

(京王線調布駅より徒歩2分)

蔵書数 125,683冊

(平成3年3月31日現在 以下同じ)



2 国領分館

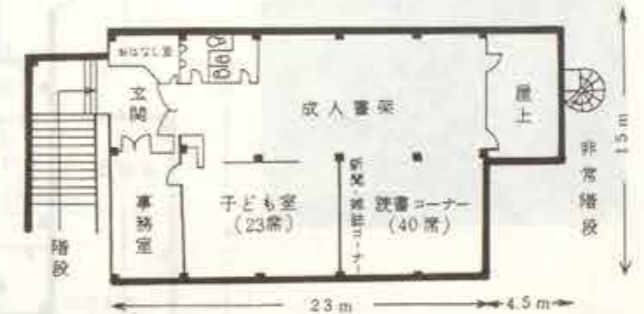
調布市国領町3-12-1

電話・FAX 0424-84-2000

昭和44年8月14日開館(保育園併設)

(京王線国領駅より徒歩3分)

蔵書数 32,843冊



3 つつじヶ丘分館

調布市西つつじヶ丘4-23-6
電話・FAX 0424-85-2000

昭和45年7月20日開館
(京王線つつじヶ丘駅より徒歩10分)



蔵書数 17,131冊



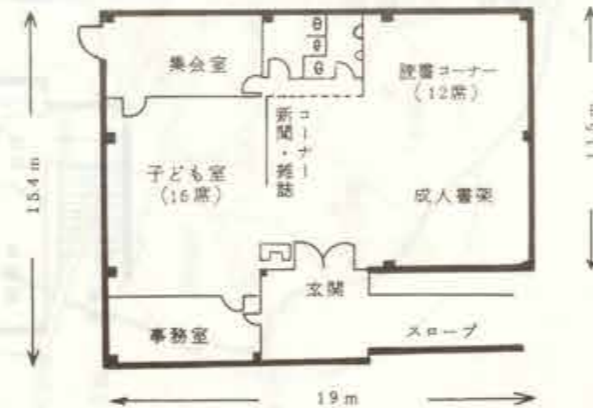
4 深大寺分館

調布市深大寺北町5-6-1
電話・FAX 0424-85-3350

昭和46年7月24日開館
(吉祥寺・三鷹行バス山野より徒歩8分)



蔵書数 29,966冊



5 神代分館

調布市西つつじヶ丘1-40-5
電話・FAX 0424-85-0054

昭和46年10月1日開館 (保育園併設)
(京王線つつじヶ丘駅より徒歩8分)



蔵書数 30,953冊



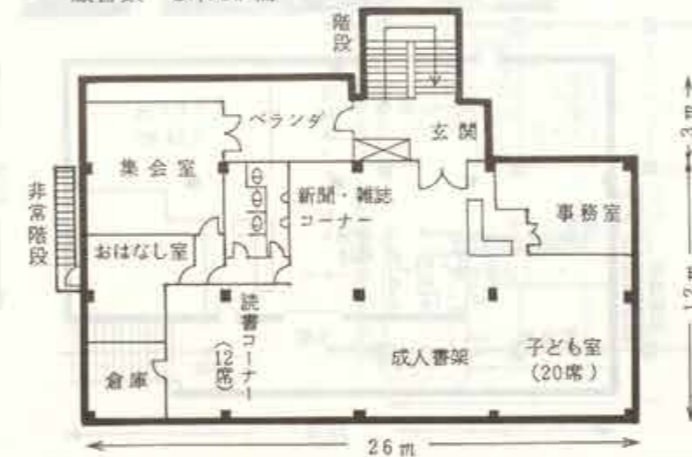
6 宮の下分館

調布市上石原3-34-10
電話・FAX 0424-86-5798

昭和47年7月24日開館 (保育園併設)
(京王線西調布駅より徒歩15分)



蔵書数 27,703冊



7 緑ヶ丘分館

調布市緑ヶ丘2-25

電話・FAX 03-3300-7672

昭和49年7月20日開館

(京王線仙川駅より徒歩12分)

蔵書数 29,726冊



8 富士見分館

調布市富士見町2-3-26

電話・FAX 0424-81-7664

昭和49年7月20日開館 (保育園併設)

(京王線調布駅より徒歩15分)

蔵書数 31,215冊



9 若葉分館

調布市若葉町3-16-13

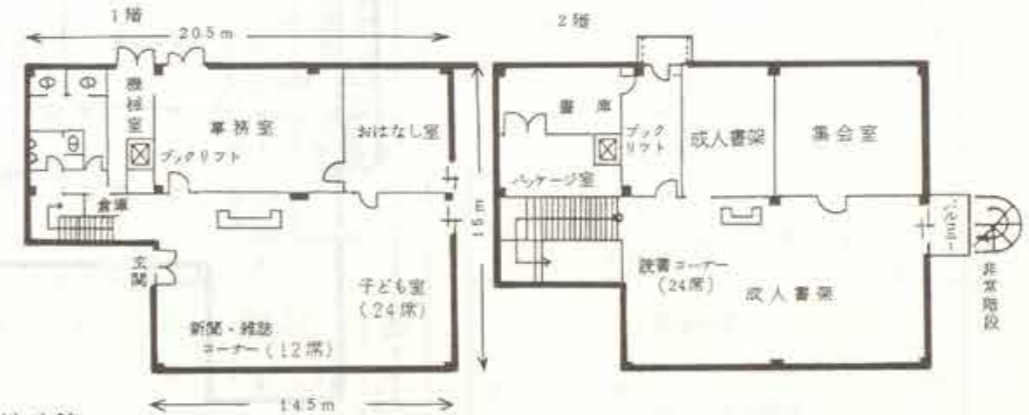
電話・FAX 03-3309-3411

昭和50年4月12日 (児童室) 開館

7月5日 (成人室) 開館

(京王線仙川駅より徒歩12分)

蔵書数 38,414冊



10 染地分館

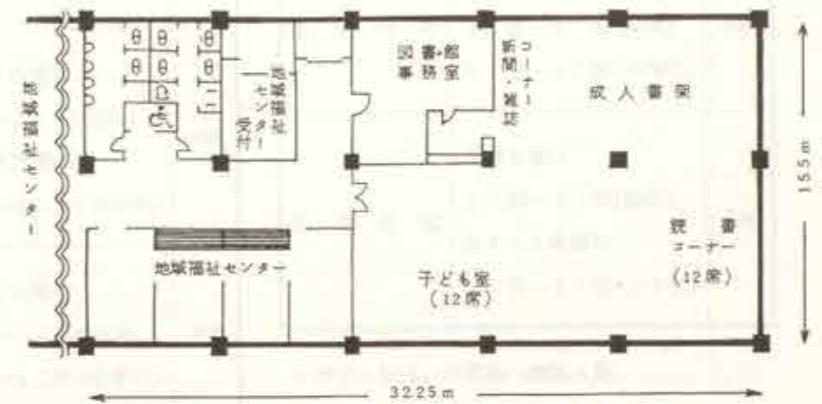
調布市染地3-3-1

電話・FAX 0424-88-8393

昭和55年6月6日開館 (地域福祉センター併設)

(多摩川住宅西行バス染地公園前より徒歩3分)

蔵書数 37,313冊



11 佐須分館

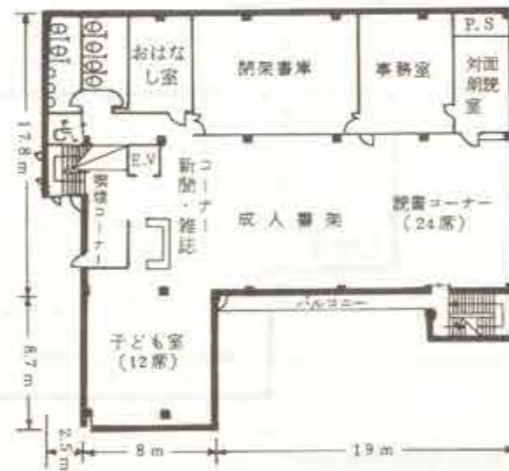
調布市佐須町4-42-2

電話・FAX 0424-85-1306

昭和57年7月13日開館(児童館併設)

(京王線布田駅より徒歩15分)

蔵書数 31,257冊



IV 各館の事業

1 子ども対象の事業

(1) おはなし会

幼児から小学生を対象に、ストーリーテリング、絵本の読み聞かせ、紙芝居、スライド、16ミリフィルム等を組み合わせたプログラムを用意し、楽しいお話の世界へ導くことを目的として実施した。定例日の他に、夏休み、クリスマス等に特別おはなし会を実施した館もある。

実施館	日 時	参加人数
中央館	第2・4水曜日 3:00~3:30 (幼児・小学生)	469人
国領分館	毎週水曜日 3:00~3:30 (幼児・小学生)	288人
つつじヶ丘分館	第2日曜日 10:00~10:20(幼児) 10:30~11:00(小学生)	348人
深大寺分館	毎週木曜日 3:00~3:30(幼児) 第1・3水曜日 3:30~4:00(小学生)	302人
神代分館	第1・3水曜日 3:00~3:30(幼児) 第2・4水曜日 3:00~3:30(小学生)	386人
宮の下分館	第1~3水曜日 3:00~3:30(幼児) 3:30~4:00(小学生)	868人

実施館	日 時	参加人数
緑ヶ丘分館	第1・3水曜日 3:00~3:30(幼児) 第1・4水曜日 3:00~3:30(小学生)	147人
富士見分館	毎週水曜日 2:00~2:20(幼児) 第1・3水曜日 3:00~3:30(小学生)	254人
若葉分館	毎週火曜日 3:00~3:30(小学生) 毎週木曜日 3:00~3:30(幼児)	1,359人
染地分館	第2・4木曜日 3:00~3:30(幼児) 3:30~4:00(小学生)	401人
佐須分館	毎週水曜日 2:30~2:50(幼児) 第1・3水曜日 3:30~3:50(小学生)	836人

○参加人数は、年間延べ参加人数。

(2) 小学生読書会

小学校3年生から6年生までを対象に、幅広く本の世界の楽しさを知ってもらうために実施した。日常の生活に結びついたテーマを中心にプログラムを組み、ストーリーテリング、本の読み聞かせと合わせて、文学作品、ノンフィクションなどの本を紹介した。また、創作活動もとり入れ、創造力を啓発した。

実施館	日	時
中央館	第1日曜日	10:00~11:30

(3) 市立小学校との協理事業

市内公立全小学校を対象に、読書の動機づけを行った。対象は原則として、社会科で図書館について学び、行動範囲も広がる3年生とし、図書館利用のガイダンスや本の紹介をした。学校の要望に応じて、他の学年にも実施した。この他、夏休み向けに、先生方と協力して推せん図書リストを作成し、それ以外の図書館作成リストも随時配布した。また、先生方から読書相談を受けたり、依頼により父母に向けて本の紹介や読み聞かせについての会をもつなど学校との連携をはかった。希望に応じて団体貸出も行った。

プログラム例

内	容
①プログラム	ガイダンス(3年生) 1. 「としょかんのつかいかた」(利用案内の説明) 2. 本の紹介 「ゆうえんちのわたあめちゃん」「まほうのわ」他 3. 読み聞かせ 「なんでも見える鏡」 4. ストーリーテリング 「ふしぎなたいこ」
②プログラム	テーマ: 君たちは大きくなったら何になる(2年生) 1. 読み聞かせ 「おもいついたらそのときに」 2. 本の紹介 「ゆうびんやさんはだれ?」「やってみたいなこなしごと」他 3. ストーリーテリング 「ふしぎなお客」
③プログラム	テーマ: 不思議・謎とき・ミステリー(6年生) 1. 本の紹介 「魔法のアイロン」「さいごの冒険」「恐竜はなぜほろんだか」他 2. 読み聞かせ 「フォックス氏」

平成2年度学校協理事業実施回数及び団体貸出冊数(表IV-1)

学校名	学年									計	団体貸出冊数
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	その他				
第 一	1	1	1	1	1	1	1	1	7	1,800	
第 二		1	1						2	20	
第 三			1						1	805	
八雲台			1						1	290	
富士見台			1						1	540	
滝坂			1						1	0	
深大寺			1						1	0	
上ノ原			1						1	52	
石原			1						1	680	
若葉	2	1	2						5	9,960	
野川			1						1	0	
緑ヶ丘	1	1	1		1				4	0	
築地			1						1	30	
北ノ台			1						1	0	
多摩川			1						1	183	
杉森			1				1		2	0	
大町			1						1	0	
飛田給			1						1	0	
柏野			1						1	430	
国領			1						1	0	
布田			1						1	800	
小計	4	4	22	1	2	2	1		36	15,590	
中学校	調布	1	1						2	238	
第 六									0	215	
小計	1	1							2	453	
合計									38	16,043	

(4) その他

事業名	日時・会場	内 容
中学生通信の発行	毎月1回、第1日曜日 午前9時半~11時半 国領分館(編集会場)	中学生との交流と図書館利用の促進を目的に、中学生による中学生のための通信「ぶちねこ便」を発行した。各図書館のカウンターを通じて配布したところ、読者からの反響は大きかった。
二葉学園読書会	年3回(7月・11月・3月) 午後6時半~7時半 二葉学園	読み聞かせの本の紹介などを中心に、本の世界の楽しさを知ってもらい、読書への導入をはかった。また、本を媒介にしての創作も行った。
その他全館実施	随時 児童館・学童保育所 保育園・幼稚園	市の施設等に対して、図書の特集貸出を行った。また、施設を利用している子どもたちを対象に読み聞かせなどを行い、相互の連携をはかった。

2 成人対象の事業

事業名	日時・会場	内容
子どもの本を読む会	毎月1回、第4火曜日 午前10時～12時 公民館ほか	昔話、新刊書、基本的な図書などをとりあげて読書会を催した。大冊の作品にも手をのばし、相互の読後感を話し合い、子どもと本に対する理解を深めた。
絵本の会	毎月1回、第3木曜日 午前10時～12時 深大寺分館	絵本についての勉強会で、元年度はテーマ別に絵本をとりあげて、絵本と子どもをめぐる様々な問題について話し合った。



おはなし会風景



分館カウンター風景

V 蔵書の状況

各分館においては、それぞれ、文学を中心に社会科学、歴史、地理、家庭など比較的使用頻度の高い分野に重点を置いて整備をすすめた。

一方、中央館では、各分館のセンターとしての役割を果たすために、すべての分野にわたって網羅的に収集することを原則として蔵書の構築をはかっている。しかし、課題として全館的な視野にわたっての選書体制づくりが残っており、取り組みを急ぎたい。

また、現在の中央館は、所蔵能力を超えており、新しい資料でも、佐須分館内の閉架書庫と中央自動車道高架下にある資料保存庫の2カ所に分けて、配架せざるを得ない状況である。

このように、利用者の求める資料を所蔵しているにもかかわらず、直ちに提供できない状況にあり、十分な書架スペースと保存機能を備えた新しい中央図書館の建設が大いに待たれる。

新中央図書館用の図書購入については、成人用が芸術・日本文学・外国文学・高価本・映画資料・大型活字本の分野別に、児童用は出版社別にまとめて購入され、合わせて25,514冊が新たに加わり、69,105冊となった。

図書の保存に関しても、全館からの保存希望図書を対象に作業が進められたため、絶版本など資料的価値のある本を保持できるようになった。

年度別蔵書冊数の推移（表V-1）

年度	分野	成人図書	児童図書	計
S41		7,946	1,308	9,254
42		12,272	2,588	14,860
43		16,390	4,392	20,782
44		22,142	7,570	29,712
45		28,068	10,834	38,902
46		34,997	18,810	53,807
47		49,510	26,365	75,875
48		73,570	34,157	107,727
49		99,001	53,375	152,376
50		121,382	61,570	182,952
51		136,416	67,312	203,728
52		147,581	68,412	215,993
53		159,407	71,587	230,994
54		171,602	74,840	246,442
55		192,087	80,480	272,567
56		215,795	86,839	302,634
57		230,830	92,337	323,167
58		246,592	94,786	341,378
59		244,022	96,960	340,982
60		248,763	96,666	345,429
61		259,143	100,279	359,422
62		274,890	105,052	379,942
63		287,964	106,665	394,629
H1		296,702	110,034	406,736
2		313,477	116,625	430,102

館別・分類別蔵書冊数(表V-2)

平成3年3月31日現在

分類	館名	平成3年3月31日現在																						
		中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	合計	新中央館										
郷土資料	郷土資料	3,809																						
	総記	8,732	648	237	651	744	456	779	696	866	942	835	15,586	1,531										
成人	哲学・宗教	4,708	767	99	541	753	467	440	585	860	704	705	10,629	2,418										
	歴史・地理	10,922	2,699	685	2,313	2,636	1,972	2,303	2,397	3,345	2,862	2,660	34,794	3,658										
図	社会科学	15,460	2,837	587	2,381	2,824	1,941	2,254	2,404	2,862	3,292	2,678	39,720	8,370										
	自然科学	4,836	1,571	463	1,324	1,502	1,302	1,424	1,198	1,782	1,678	1,972	19,052	3,762										
書	工業家庭	4,023	1,949	1,412	1,872	2,046	1,789	1,887	1,644	1,746	1,922	1,745	22,035	2,573										
	産業交通	1,639	497	88	498	577	409	434	424	448	471	470	6,155	1,390										
芸術スポーツ	芸術スポーツ	8,676	2,251	393	2,067	2,223	1,737	1,941	2,268	2,744	2,382	2,343	29,025	7,426										
	語学	1,905	573	137	554	417	349	468	424	556	636	528	6,547	1,828										
児童	児童	31,328	10,655	4,808	10,090	8,971	9,122	8,988	10,260	11,684	12,347	9,791	128,044	13,154										
	児童書	29,445	8,396	8,222	7,675	8,260	8,159	8,808	8,915	11,521	10,077	7,330	116,808	22,995										
合計	合計	125,683	32,843	17,131	29,966	30,953	27,703	29,726	31,215	38,414	37,313	31,257	432,204	69,105										

館別購入・寄贈受入・除籍冊数(表V-3)

資料区分	館名 年度	中央館			国領分館			つつじヶ丘分館		
		63年度	元年度	2年度	63年度	元年度	2年度	63年度	元年度	2年度
購入	郷土資料	95	303	92	-	-	-	-	-	-
	成人	6,547	6,255	8,480	1,905	2,031	2,741	0	1,212	2,516
	児童	2,283	2,918	4,065	892	1,094	1,396	1,146	1,224	2,266
	合計	8,925	9,476	12,637	2,797	3,125	4,137	1,146	2,436	4,782
寄贈	郷土資料	287	112	114	-	-	-	-	-	-
	成人	1,105	959	1,148	423	238	89	0	133	191
	児童	218	653	709	39	8	1	10	18	10
	合計	1,610	1,724	1,971	462	246	90	10	151	201
除籍	郷土資料	0	1	0	-	-	-	-	-	-
	成人	1,762	1,496	1,976	2,359	1,134	1,406	0	790	163
	児童	624	435	4,245	1,839	821	1,001	912	2,115	865
	合計	2,386	1,932	6,221	4,198	1,955	2,407	912	2,905	1,028

資料区分	館名 年度	深大寺分館			神代分館			宮の下分館		
		63年度	元年度	2年度	63年度	元年度	2年度	63年度	元年度	2年度
購入	郷土資料	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成人	2,211	2,274	2,682	1,630	2,282	2,200	2,270	2,343	2,553
	児童	914	1,000	1,194	919	1,211	1,225	1,410	1,103	1,343
	合計	3,125	3,274	3,876	2,549	3,493	3,425	3,680	3,446	3,896
寄贈	郷土資料	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成人	40	93	493	183	285	87	108	88	157
	児童	3	0	0	37	9	7	17	14	0
	合計	43	93	493	220	294	94	125	102	157
除籍	郷土資料	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成人	277	2,698	2,719	839	3,497	1,866	2,198	2,317	3,279
	児童	154	1,855	665	1,137	1,416	811	946	1,507	569
	合計	431	4,553	3,384	1,976	4,913	2,677	3,144	3,824	3,848

○中央館は、このほかに新中央図書館用図書として、61年度2,849冊、62年度7,934冊、63年度14,848冊、元年度17,960冊、2年度25,514冊を購入。

年度別・館別登録者数(表VI-2)

年度		S41	55	56	57	58	59
成人	中央館	2,161	7,609	7,868	7,666	7,360	7,325
	国領分館		1,972	2,017	2,129	2,037	2,026
	つつじヶ丘分館		949	1,009	971	1,027	1,004
	深大寺分館		1,344	1,375	1,483	1,475	1,460
	神代分館		1,984	1,927	1,901	1,919	1,957
	宮の下分館		1,170	1,264	1,242	1,256	1,381
	緑ヶ丘分館		1,068	1,023	954	941	1,071
	富士見分館		1,262	1,197	1,304	1,324	1,421
	若葉分館		1,958	2,003	1,948	1,935	2,167
	染地分館		2,000	2,181	2,279	2,370	2,440
	佐須分館				1,355	1,560	1,879
	計	2,161	21,316	21,864	23,232	23,204	24,131
	指数	100	986	1,011	1,075	1,074	1,117
	児童	中央館	921	3,558	3,534	3,210	2,901
国領分館			2,022	2,113	1,989	1,969	1,740
つつじヶ丘分館			1,326	1,235	1,234	1,296	1,192
深大寺分館			1,404	1,320	1,349	1,203	1,190
神代分館			1,687	1,576	1,516	1,481	1,366
宮の下分館			1,535	1,507	1,532	1,389	1,350
緑ヶ丘分館			1,334	1,188	1,073	1,000	950
富士見分館			1,529	1,414	1,521	1,481	1,449
若葉分館			1,736	1,692	1,688	1,750	1,761
染地分館			2,217	2,330	2,388	2,331	2,243
佐須分館					1,622	1,813	1,732
計		921	18,348	17,909	19,122	18,614	17,660
指数		100	1,992	1,944	2,076	2,021	1,917
合計		中央館	3,082	11,167	11,402	10,876	10,261
	国領分館		3,994	4,130	4,118	4,006	3,766
	つつじヶ丘分館		2,275	2,244	2,205	2,323	2,196
	深大寺分館		2,748	2,695	2,832	2,678	2,650
	神代分館		3,671	3,503	3,417	3,400	3,323
	宮の下分館		2,705	2,771	2,774	2,645	2,731
	緑ヶ丘分館		2,402	2,211	2,027	1,941	2,021
	富士見分館		2,791	2,611	2,825	2,805	2,870
	若葉分館		3,694	3,695	3,636	3,685	3,928
	染地分館		4,217	4,511	4,667	4,701	4,683
	佐須分館				2,977	3,373	3,611
	計	3,082	39,664	39,773	42,354	41,818	41,791
	指数	100	1,287	1,290	1,374	1,357	1,356
	登録率	2.5	22.5	22.2	23.4	23.0	22.7

60	61	62	63	H1	S62・63 H1累計	2
7,207	7,267	7,182	3,569	2,884	13,635	7,906
2,111	2,178	2,035	774	644	3,453	2,147
1,032	994	940	288	217	1,445	1,018
1,330	1,319	1,210	309	258	1,777	1,190
2,055	2,213	2,112	613	617	3,342	2,110
1,442	1,496	1,647	458	371	2,476	1,465
1,168	1,167	1,166	272	208	1,646	1,031
1,466	1,424	1,414	362	318	2,094	1,232
2,228	2,229	2,279	674	491	3,444	2,216
2,596	2,750	2,632	608	396	3,636	2,317
1,925	1,843	1,738	566	394	2,698	1,639
24,560	24,880	24,355	8,493	6,798	39,646	24,271
1,137	1,151	1,127				1,123
2,448	2,487	2,380	992	708	4,080	2,201
1,611	1,546	1,332	369	273	1,974	1,067
1,063	1,153	1,054	207	182	1,443	896
1,031	830	748	215	139	1,102	622
1,250	1,240	1,123	300	303	1,726	965
1,277	1,268	1,242	312	276	1,830	956
1,015	944	809	93	91	993	521
1,374	1,290	1,110	284	251	1,645	864
1,606	1,543	1,457	331	260	2,048	1,230
2,084	1,922	1,844	335	255	2,434	1,264
1,580	1,381	1,236	423	277	1,936	984
16,339	15,604	14,335	3,861	3,015	21,211	11,570
1,774	1,694	1,556				1,256
9,655	9,754	9,562	4,561	3,592	17,715	10,107
3,722	3,724	3,367	1,143	917	5,427	3,214
2,095	2,147	1,994	495	399	2,888	1,914
2,361	2,149	1,958	524	397	2,879	1,812
3,305	3,453	3,235	913	920	5,068	3,075
2,719	2,764	2,889	770	647	4,306	2,421
2,183	2,111	1,975	365	299	2,639	1,552
2,840	2,714	2,524	646	569	3,739	2,096
3,834	3,772	3,736	1,005	751	5,492	3,446
4,680	4,672	4,476	943	651	6,070	3,581
3,505	3,224	2,974	989	671	4,634	2,623
40,899	40,484	38,690	12,354	9,813	60,857	35,841
1,327	1,314	1,255				1,163
21.8	21.3	19.6				18.7

○62年度より、貸出券の有効期間が3年間(平成2年3月まで)となった。

平成2年度 館別・町別登録者数（成人・児童別）（表VI-3）その1

町名 区分	中央館			国領分館			つつじヶ丘分館		
	成人	児童	計	成人	児童	計	成人	児童	計
飛田給 (含、野水・西町)	281	71	352	5		5	1		1
上石原	325	81	406	3		3	1		1
下石原	539	244	783	5		5	1		1
多摩川	728	329	1,057	10	3	13			
富士見町	483	118	601	6		6	1		1
小島町	910	399	1,309	7	3	10	2		2
布田	967	353	1,320	19	8	27	1		1
調布ヶ丘	546	183	729	6	1	7	1		1
国領町	847	188	1,035	1,559	856	2,415	15	13	28
八雲台	67	22	89	65	25	90		1	1
染地	680	104	784	91	31	122		3	3
深大寺元町	216	36	252	4	1	5			
深大寺北町	59	6	65						
深大寺東町	69	8	77		1	1	3	1	4
深大寺南町	60	9	69	3		3			
佐須町	110	9	119	13	4	17	2		2
柴崎	126	6	132	47	24	71	1	1	2
入間町	37	5	42				8	7	15
東つつじヶ丘	70	4	74	5		5	25	16	41
西つつじヶ丘	150	13	163	26	6	32	742	667	1,409
若葉町	53		53	3	2	5	2		2
仙川	52	2	54						
緑ヶ丘	45	3	48	3		3	1		1
菊野台	132	8	140	233	101	334	172	174	346
市内小計	7,552	2,201	9,753	2,113	1,066	3,179	979	883	1,862
調布市外	354		354	34	1	35	39	13	52
合計	7,906	2,201	10,107	2,147	1,067	3,214	1,018	896	1,914

深大寺分館			神代分館			宮の下分館		
成人	児童	計	成人	児童	計	成人	児童	計
3		3	2		2	191	139	330
1		1				513	299	812
			3		3	195	104	299
						460	392	852
10	1	11	2	2	4	10	2	12
1		1	2		2	20	6	26
2		2	1	1	2	3	3	6
1	1	2	1		1	4		4
4		4	6	1	7	4		4
						1		1
2		2	3	1	4	3		3
92	71	163	4	1	5	1		1
600	309	909	5		5			
399	213	612	210	114	324			
22	25	47	71	45	116			
2		2	20	5	25			
6		6	713	353	1,066	2	3	5
			1		1	2	4	6
			30	17	47			
6		6	759	357	1,116			
			8	2	10			
			2	4	6			
			4		4			
3		3	50	21	71	1		1
1,154	620	1,774	1,897	924	2,821	1,410	952	2,362
36	2	38	213	41	254	55	4	59
1,190	622	1,812	2,110	965	3,075	1,465	956	2,421

町名	館名 区分	緑ヶ丘分館			富士見分館			若葉分館		
		成人	児童	計	成人	児童	計	成人	児童	計
飛田給 (含、野水・西町)		3		3	9	3	12	2		2
上石原					35	19	54			
下石原		1	1	2	81	64	145	3		3
多摩川					5	19	24	2		2
富士見町					838	610	1,448	1		1
小島町		1		1	98	73	171	1		1
布田		2		2	8	5	13	3		3
調布ヶ丘					72	38	110	2		2
国領町		2	1	3	5	1	6	7	2	9
八雲台								5		5
染地		3		3				4		4
深大寺元町					53	24	77	3		3
深大寺北町					4	2	6	1		1
深大寺東町		4	4	8	3		3		2	2
深大寺南町								1		1
佐須町		1		1	1		1	2		2
柴崎		1		1	2		2	8		8
入間町		5		5				679	501	1,180
東つつじヶ丘		5	1	6				392	245	637
西つつじヶ丘		6		6				242	60	302
若葉町		6	1	7				586	296	882
仙川		114	65	179				175	101	276
緑ヶ丘		766	415	1,181				22	4	26
菊野台		1	1	2				8		8
市内小計		921	489	1,410	1,214	858	2,072	2,149	1,211	3,360
調布市外		110	32	142	18	6	24	67	19	86
合計		1,031	521	1,552	1,232	864	2,096	2,216	1,230	3,446

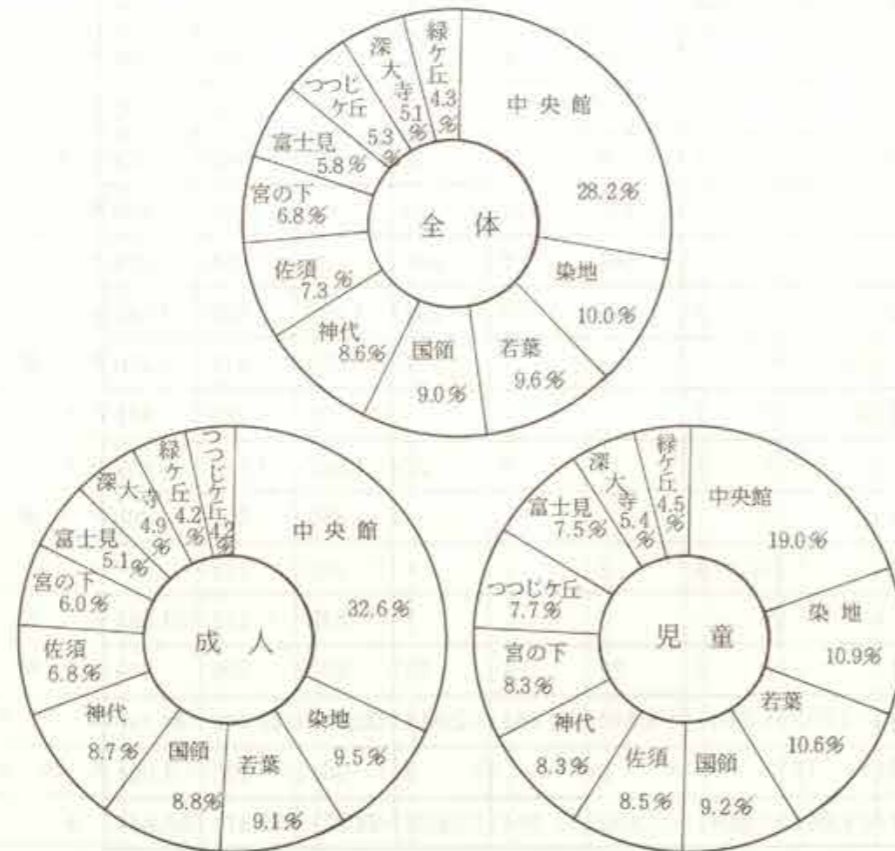
染地分館			佐須分館			合計		
成人	児童	計	成人	児童	計	成人	児童	計
2		2	4		4	503	213	716
2		2	2		2	882	399	1,281
2		2	3	1	4	833	414	1,247
58	16	74	2		2	1,265	759	2,024
2		2	22	15	37	1,375	748	2,123
4		4	2		2	1,048	481	1,529
29	12	41	31	23	54	1,066	405	1,471
2	2	4	169	148	317	804	373	1,177
199	125	324	88	74	162	2,736	1,261	3,997
4	2	6	199	141	340	341	191	532
1,975	1,093	3,068	6		6	2,767	1,232	3,999
3	1	4	102	46	148	478	180	658
1		1	3	2	5	673	319	992
1		1	26	16	42	715	359	1,074
			172	121	293	329	200	529
			581	266	847	732	284	1,016
3		3	170	121	291	1,079	508	1,587
			1		1	733	517	1,250
1		1				528	283	811
	1	1	16	6	22	1,947	1,110	3,057
1		1				659	301	960
1		1	1		1	345	172	517
			1		1	842	422	1,264
1		1	29	4	33	630	309	939
2,291	1,252	3,543	1,630	984	2,614	23,310	11,440	34,750
26	12	38	9		9	961	130	1,091
2,317	1,264	3,581	1,639	984	2,623	24,271	11,570	35,841

平成2年度 館別・職業別登録者数 (表Ⅴ-4)

館名 職業別	中央館	国領	つつじヶ丘	深大寺	神代	宮の下	緑ヶ丘	富士見	若葉	染地	佐須	合計	%
中学生	455	332	161	172	280	208	141	239	404	340	185	2,917	8.1(12.0)
高校生	763	240	51	109	189	137	100	107	203	231	167	2,297	6.4(9.5)
学生	1,945	218	35	82	229	98	73	89	223	179	158	3,329	9.3(13.7)
動人	2,184	515	239	256	506	397	229	303	483	588	399	6,099	17.0(25.1)
主婦	1,739	642	456	430	698	518	376	403	698	792	555	7,307	20.4(30.1)
自営	198	57	20	49	59	32	29	22	60	44	47	617	1.7(2.5)
その他	174	34	21	19	44	21	17	19	41	30	33	453	1.3(1.9)
無職	448	109	35	73	105	54	66	50	104	113	95	1,252	3.5(5.2)
小計	7,906	2,147	1,018	1,190	2,110	1,465	1,031	1,232	2,216	2,317	1,639	24,271	67.7(100)
児童	2,201	1,067	896	622	965	956	521	864	1,230	1,264	984	11,570	32.3
合計	10,107	3,214	1,914	1,812	3,075	2,421	1,552	2,096	3,446	3,581	2,623	35,841	100
%	28.2	9.0	5.3	5.1	8.6	6.8	4.3	5.8	9.6	10.0	7.3	100	

○()内は成人の中での割合。

平成2年度 登録者の館別比率 (図Ⅴ-1)



2 市内小中学生の登録状況 (平成2年度調査結果)

昭和43年度以来、3年に1度の割合で実施しているこの調査は、今回で8回目になる。調査は、個人貸出申込書の登録データをもとに行った。

小中学生の登録状況を見ると、市内に点在する各図書館と学校との距離が近いほど登録率が高く、よく利用されていることがわかる。これは、地理的に近い館ほど、個人での読書のほかにも、宿題や修学旅行・文化祭準備などを目的としたグループでの利用が多くなるためである。

また、小学生は平均して70%弱、特に3年生は80%を超える高い登録率を示している。各図書館がサービスエリア内の小学校と協力して、3年生を対象とした図書館利用のガイダンスをはじめ、ブックトーク・読み聞かせ・ストーリーテリング等によって読書の動機づけを行っている成果が、この数字となってあらわれているといえよう。

しかし、今回の調査結果を前回と比較すると、登録者数・登録率とも全般に減少の傾向にあり、特に高学年の登録率の減少が著しいことがわかる。これには、児童数の低下とともに、最近の子どもたちが塾や習い事などで忙しく、ゆとりがなくなっていることが影響していると思われる。子どもたちの生活をとりまく状況を考慮しつつ、継続的に一層工夫した働きかけをしていく必要がある。

平成2年度 館別未就学児登録者数 (表Ⅴ-5)

年齢	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館
0歳	15	10	8	3	10	10	9
1歳	38	21	21	15	27	19	15
2歳	86	36	36	16	45	57	20
3歳	157	75	50	27	63	73	22
4歳	167	71	64	44	59	80	34
5歳	159	75	81	38	85	76	50
6歳	56	25	18	12	22	21	39
計	678	313	278	155	311	336	189

年齢	館名	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計	年齢別人口	登録率
0歳		3	8	7	16	99	1,755	5.6
1歳		13	34	28	14	245	1,944	12.6
2歳		30	50	41	38	455	1,942	23.4
3歳		59	77	72	62	737	1,891	39.0
4歳		66	75	82	63	805	1,842	43.7
5歳		61	89	100	65	879	1,951	45.1
6歳		12	32	21	23	281	1,968	(14.3)
計		244	365	351	281	3,501	13,293	(26.3)

○6歳児人口は、小学校1年生も含むため、登録率は参考データ。

平成2年度 学校別・学年別登録者数(小学校) (表Ⅵ-6)

学校名	1年		2年		3年		4年	
	児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数
第一	122	71	99	74	117	81	114	60
第二	58	46	59	47	47	35	51	34
第三	87	42	71	48	92	65	98	59
八雲台	113	63	109	69	112	88	99	71
富士見台	98	70	94	61	88	66	96	65
滝坂	101	59	100	52	85	70	101	69
深大寺	69	23	68	32	62	39	51	16
上ノ原	138	94	117	70	114	89	130	70
石原	127	103	136	92	115	95	103	72
若葉	101	106	91	98	113	111	102	98
野川	65	52	87	79	82	83	73	75
緑ヶ丘	74	58	73	59	72	55	59	47
染地	53	41	49	31	62	55	64	56
北ノ台	99	52	98	62	114	95	99	45
多摩川	94	59	89	51	84	80	79	51
杉森	131	109	106	83	114	109	120	102
大町	66	53	50	35	44	41	71	64
飛田給	63	22	62	11	70	42	55	19
柏野	57	38	62	50	63	48	85	60
国領	74	59	75	51	89	76	66	91
布田	52	30	59	38	72	40	64	46
小計	1,842	1,250	1,754	1,193	1,811	1,463	1,780	1,270
登録率	67.9		68.0		80.8		71.3	
市内私立		25		20		30		20
市外		36		33		47		35
合計		1,311		1,246		1,540		1,325

5年		6年		合計		登録率
児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数	
141	96	116	67	709	449	63.3
51	36	57	31	323	229	70.9
92	59	99	45	539	318	59.0
127	83	118	92	678	466	68.7
108	80	115	67	599	409	68.3
112	69	97	45	596	364	61.1
69	40	58	26	377	176	46.7
148	122	129	87	776	532	68.6
116	81	95	78	692	521	75.3
108	84	114	88	629	585	93.0
76	75	78	75	461	439	95.2
76	61	62	29	416	309	74.3
64	43	66	36	358	262	73.2
111	68	108	50	629	372	59.1
82	54	82	23	510	318	62.4
138	114	130	103	739	620	83.9
58	38	72	19	361	250	69.3
59	27	52	21	361	142	39.3
66	43	88	53	421	292	69.4
109	81	113	81	526	412	78.3
86	54	76	39	409	247	60.4
1,997	1,408	1,925	1,155	11,109	7,712	69.4
70.5		60.0		69.4		
26		29		150		
30		26		207		
1,464		1,210		8,069		

○登録者数が児童数を上回るのは、複数館で登録できるため。

平成2年度 学校別・館別登録者数(小学校) (表Ⅵ-7)

学校名	中央館		国領分館		つつじヶ丘分館		深大寺分館		神代分館	
	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
第一	263	37.1	2	0.3			1	0.1		
第二	74	22.9	148	45.8						
第三	53	9.8								
八雲台	174	25.7	56	8.3						
富士見台	384	64.1	2	0.3						
滝坂	5	0.8			11	1.8			131	22.0
深大寺	18	4.8					85	22.5	18	4.8
上ノ原	9	1.2	30	3.9	3	0.4	5	0.6	420	54.1
石原	79	11.4							1	0.1
若葉	3	0.5	1	0.2	4	0.6				
野川	2	0.4			423	91.8			3	0.7
緑ヶ丘	1	0.2								
染地	13	3.6	17	4.7					1	0.3
北ノ台	4	0.6					366	58.2		
多摩川	81	15.9								
杉森	40	5.4	14	1.9	3	0.4				
大町	4	1.1	70	19.4	156	43.2			16	4.4
飛田給	44	12.2								
柏野	10	2.4	3	0.7			1	0.2	2	0.5
国領	19	3.6	387	73.6	5	1.0			1	0.2
布田	165	40.3								
小計	1,445		730		605		458		593	
市内私立	33		11		1		3		30	
市外	45		13		12		6		31	
合計	1,523		754		618		467		654	

宮の下分館		緑ヶ丘分館		富士見分館		若葉分館		染地分館		佐須分館	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
1	0.1	1	0.1	154	21.7					27	3.8
				1	0.3			3	0.9	3	0.9
254	47.1			11	2.0						
										236	34.8
13	2.2			7	1.2					3	0.5
		6	1.0			211	35.4				
				3	0.8					52	13.8
		1	0.1			1	0.1			63	8.1
2	0.3	1	0.1	429	62.0					9	1.3
2	0.3					575	91.4				
						11	2.4				
		305	73.3			3	0.7				
								231	64.5		
						1	0.2			1	0.2
237	46.5										
1	0.1							560	75.8	2	0.3
						1	0.3			3	0.8
98	27.1										
										276	65.6
								82	20.0		
608		314		605		803		876		675	
4		3		4		27		15		19	
8		15		11		35		22		9	
620		332		620		865		913		703	

平成2年度 学校別・学年別登録者数(中学校) (表VI-8)

学年 人数 学校名	1年		2年		3年		計		登録率
	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	
調布	267	151	286	121	299	54	852	326	38.3
神代	321	174	333	154	318	73	972	401	41.3
第三	283	181	338	140	344	115	965	436	45.2
第四	253	222	243	154	229	111	725	487	67.2
第五	254	111	244	70	333	49	831	230	27.7
第六	156	115	181	142	191	71	528	328	62.1
第七	137	51	136	47	167	36	440	134	30.5
第八	82	49	83	43	92	29	257	121	47.1
小計	1,753	1,054	1,844	871	1,973	538	5,570	2,463	44.2
登録率	60.1		47.2		27.3		44.2		
市内私立		41		31		34		106	
調布養護				1		1		2	
市外		141		100		105		346	
合計		1,236		1,003		678		2,917	

平成2年度 学校別・館別登録者数(中学校) (表VI-9)

館名 人数 学校名	中央館		国領分館		つつじヶ丘分館		深大寺分館		神代分館	
	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
調布	85	10.0	2	0.2	1	0.1	10	1.2		
神代	21	2.2	3	0.3			143	14.7	178	18.3
第三	81	8.4	50	5.2	2	0.2			2	0.2
第四	9	1.2	5	0.7	103	14.2	1	0.1	17	2.3
第五	51	6.1							1	0.1
第六	33	6.3	219	41.5	50	9.5	2	0.4	9	1.7
第七	27	6.1	23	5.2			2	0.5	8	1.8
第八			1	0.4						
小計	307		303		156		158		215	
市内私立	34		7		1		3		17	
調布養護										
市外	114		22		4		11		48	
合計	455		332		161		172		280	



中学生通信「ふちねこ便」編集風景

宮の下分館		緑ヶ丘分館		富士見分館		若葉分館		染地分館		佐須分館	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
12	1.4			206	24.2			1	0.1	9	1.1
1	0.1	1	0.1	3	0.3	2	0.2			49	5.0
		2	0.2	1	0.1	2	0.2	294	30.5	2	0.2
		3	0.4			348	48.0			1	0.1
175	21.1			3	0.4						
		1	0.2	1	0.2	3	0.6	1	0.2	9	1.7
		1	0.2							73	16.6
		119	46.3			1	0.4				
188		127		214		356		296		143	
3		2		2		16		9		12	
				1				1			
17		12		22		32		34		30	
208		141		239		404		340		185	

3 貸出

平成2年度 館別個人貸出冊数 (表Ⅴ-10)

資料別	館名	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館
成人	雑誌	7,075	2,384	5,710	2,718	3,520	3,665
	図書	112,983	31,072	22,570	25,180	34,410	29,565
小計		120,058	33,456	28,280	27,898	37,930	33,230
児童図書		51,338	21,790	25,833	15,584	24,446	26,908
合計		171,396	55,246	54,113	43,482	62,376	60,138

○62年度より1人3冊貸出になった。

平成2年度 館別団体貸出冊数 (表Ⅴ-11)

団体別	館名	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館
団体数		44	6	2	2	7
貸出冊数	学校	2,978	235			52
	保育園	274	680	259	390	638
	その他	228			4	213
	合計	3,480	915	259	394	903

○若葉分館は、若葉小学校全クラスに読書の時間を通して定期的にクラス単位の貸出をしている。

○その他は、文庫・幼稚園・学童保育所・児童館・公民館等。

平成2年度 館別予約図書受付冊数 (表Ⅴ-12)

資料別	館名	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館
成人図書		4,563	804	1,046	942	1,219
児童図書		512	169	283	438	176
合計		5,075	973	1,329	1,380	1,395

○予約図書には、リクエスト図書も含む。

緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計	%
2,778	1,667	4,118	4,630	3,434	41,699	5.8
18,857	17,474	32,980	41,089	28,646	394,826	54.8
21,635	19,141	37,098	45,719	32,080	436,525	60.6
13,225	14,345	27,799	37,740	25,119	284,127	39.4
34,860	33,486	64,897	83,459	57,199	720,652	100.0

宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
7	6	29	27	5	11	146
971		1,080	9,977	30	720	16,043
462	462	195	807			4,167
27	362		215	1,003	63	2,115
1,460	824	1,275	10,999	1,033	783	22,325

宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
523	395	426	887	1,958	715	13,478
254	144	152	705	786	220	3,839
777	539	578	1,592	2,744	935	17,317

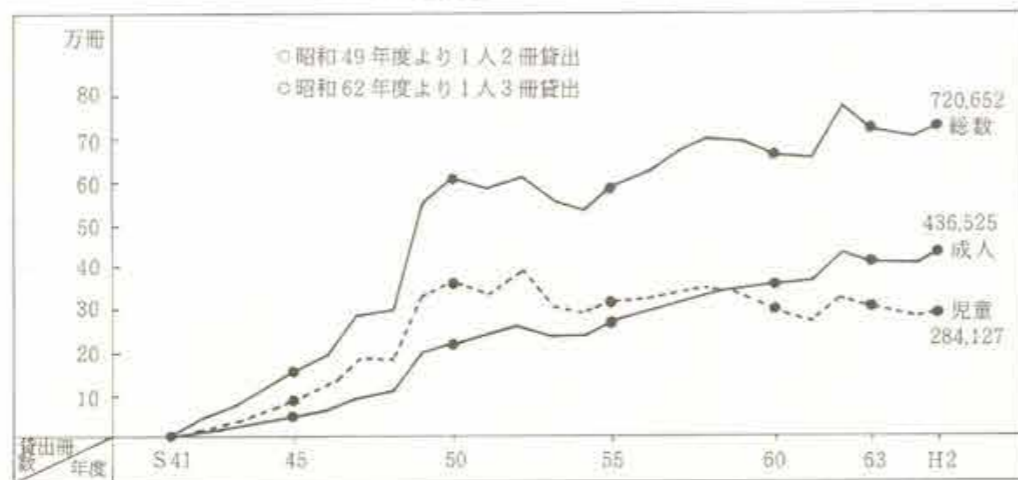
年度別・館別個人貸出冊数 (表Ⅴ-13)

館名		年度					
		S 41	55	56	57	58	
成人	中央館	10,115	75,135	81,207	77,898	75,104	
	国領分館		26,454	29,727	28,635	31,562	
	つつじヶ丘分館		17,597	21,682	20,248	20,909	
	深大寺分館		21,032	22,244	24,494	25,273	
	神代分館		29,776	30,331	29,643	29,776	
	宮の下分館		18,333	19,243	20,555	22,058	
	緑ヶ丘分館		16,950	17,902	18,258	20,764	
	富士見分館		19,351	20,862	24,009	26,382	
	若葉分館		28,267	30,666	29,685	28,911	
	染地分館 佐須分館		25,082	29,569	33,595	39,883	28,811
小計		10,115	277,977	303,433	326,195	349,433	
指数		100	2,748	3,000	3,225	3,455	
児童	中央館	5,587	47,694	51,262	47,758	44,649	
	国領分館		30,426	38,058	33,642	36,399	
	つつじヶ丘分館		31,547	32,429	30,961	32,715	
	深大寺分館		26,183	24,652	24,963	24,305	
	神代分館		30,888	29,120	27,238	24,868	
	宮の下分館		28,184	26,709	24,641	23,227	
	緑ヶ丘分館		29,027	25,230	24,554	24,522	
	富士見分館		28,989	29,789	34,783	33,231	
	若葉分館		24,949	28,137	28,039	27,081	
	染地分館 佐須分館		40,164	41,791	47,613	50,678	30,984
小計		5,587	318,051	327,177	351,626	352,659	
指数		100	5,693	5,856	6,294	6,312	
合計	中央館	15,702	122,829	132,469	125,656	119,753	
	国領分館		56,880	67,785	62,277	67,961	
	つつじヶ丘分館		49,144	54,111	51,209	53,624	
	深大寺分館		47,215	46,896	49,457	49,578	
	神代分館		60,664	59,451	56,881	54,644	
	宮の下分館		46,517	45,952	45,196	45,285	
	緑ヶ丘分館		45,977	43,132	42,812	45,286	
	富士見分館		48,340	50,651	58,792	59,613	
	若葉分館		53,216	58,803	57,724	55,992	
	染地分館 佐須分館		65,246	71,360	81,208	90,561	46,609
小計		15,702	596,028	630,610	677,821	702,092	
指数		100	3,796	4,016	4,317	4,471	

59	60	61	62	63	H 1	2
75,986	74,269	77,669	97,092	104,369	98,737	120,058
31,545	34,245	33,871	37,097	38,485	37,623	33,456
20,152	19,448	18,557	24,258	24,072	25,137	28,280
24,533	23,229	22,342	26,013	21,991	24,099	27,898
31,748	33,899	35,477	40,647	30,688	38,307	37,930
23,175	25,553	29,466	35,673	28,492	32,387	33,230
23,263	25,417	26,743	29,159	26,175	24,650	21,635
26,415	27,278	27,704	34,640	34,544	33,067	19,141
31,659	32,642	32,827	38,729	36,015	29,908	37,098
40,194	43,764	47,192	52,956	48,186	44,512	45,719
30,152	28,587	26,835	32,082	29,743	29,771	32,080
358,822	368,331	378,683	448,346	422,760	418,198	436,525
3,547	3,641	3,744	4,432	4,180	4,134	4,316
41,706	37,722	39,411	50,528	46,829	43,618	51,338
32,668	31,239	26,668	29,339	27,795	24,035	21,790
30,085	24,250	21,309	25,534	26,337	24,157	25,833
22,589	18,474	15,232	17,800	13,923	13,526	15,584
23,577	22,250	22,316	26,878	18,649	24,570	24,446
23,331	21,682	22,555	29,724	25,106	26,937	26,908
24,091	21,125	18,598	19,336	15,441	12,103	13,225
29,886	30,394	29,712	32,948	27,887	24,749	14,345
30,582	26,148	24,337	29,028	30,605	22,286	27,799
48,247	44,680	44,765	51,330	42,153	36,718	37,740
31,203	26,377	23,198	28,226	27,807	25,954	25,119
337,965	304,341	288,101	340,671	302,532	278,653	284,127
6,049	5,447	5,157	6,098	5,415	4,988	5,086
117,692	111,991	117,080	147,620	151,198	142,355	171,396
64,213	65,484	60,539	66,436	66,280	61,658	55,246
50,237	43,698	39,866	49,792	50,409	49,294	54,113
47,122	41,703	37,574	43,813	35,914	37,625	43,482
55,325	56,149	57,793	67,525	49,337	62,877	62,376
46,506	47,235	52,021	65,397	53,598	59,324	60,138
47,354	46,542	45,341	48,495	41,616	36,753	34,860
56,301	57,672	57,416	67,588	62,431	57,816	33,486
62,241	58,790	57,164	67,757	66,620	52,194	64,897
88,441	88,444	91,957	104,286	90,339	81,230	83,459
61,355	54,964	50,033	60,308	57,550	55,725	57,199
696,787	672,672	666,784	789,017	725,292	696,851	720,652
4,438	4,284	4,246	5,025	4,619	4,438	4,590

○ 62年度より1人3冊貸出になった。

年度別個人貸出冊数の推移 (図VI-2)



図書館活動5カ年間の実績 (表VI-14)

年 度	S 61	62	63	H 1	2
登 録 率 ($\frac{\text{市内登録者数}}{\text{人 口}} \times 100$)	20.6	19.6	—	—	18.1
市民1人当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{人 口}}$)	3.61	4.23	3.88	3.63	3.75
登録者1人当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{登録者数}}$)	16.9	20.9	—	—	20.1
1館当りの1日の貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{開館日数}}$)	236	282	275	248	274
1冊当りの利用回数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{蔵書数}}$)	1.9	2.1	1.8	1.5	1.44
市民1人当りの年間受入冊数 ($\frac{\text{年間受入冊数}}{\text{人 口}}$)	0.21	0.26	0.30	0.34	0.45
登録者1人当りの年間受入冊数 ($\frac{\text{年間受入冊数}}{\text{登録者数}}$)	0.97	1.28	—	—	2.39
市民1人当りの蔵書冊数 ($\frac{\text{蔵書数}}{\text{人 口}}$)	1.91	2.03	2.13	2.35	2.60
市民1人当りの図書購入費 ($\frac{\text{図書購入費}}{\text{人 口}}$)	385	449	521	614	782

○蔵書数、年間受入冊数、図書購入費は、61年度以降新中央図書館分も含む。
○62年度より貸出券の有効期間が3年間(平成2年3月まで)となった。

VII ハンディキャップサービス

公共図書館は、「すべての住民の学習権の保障」「いつでも・どこでも・だれでも利用できる図書館」を目標としている。その意味で、ハンディキャップサービス(以下HCサービス)は、「図書館利用にハンディキャップのある人々へのサービス」として位置づけられ、何ら特殊なサービスではない。そして、その基本となるのは図書館利用のための条件整備をすることである。

調布市立図書館におけるHCサービスは、昭和54年4月打合せ会が発足し、その体制づくりが始まった。内容は、主に視覚障害者を対象とした、朗読サービスと点訳サービスが中心である。ここ数年、具体的に他の図書館と比較しても、点訳の枚数、対面朗読の実施数、テープ雑誌の貸出数などは飛躍的な伸びを示している。利用者の増加に伴い業務量も増大しており、それに対応する体制も整備されなければならない。

これまでのHCサービスは視覚障害者を中心に進めてきたが、今後は、視覚障害者以外についてもサービスの範囲を広げ、「だれでも」利用できる図書館を目指していく必要がある。

1 朗読サービス

平成2年度は、朗読技術の向上を目指して「朗読者養成講座」を開いた。また、朗読テープ校正者の連絡会を持ち、校正用紙等の改訂を検討し、テープ作成の充実を図った。話題の小説などを、早く提供することができるようになり、テープ貸出が大幅に伸びた。対面朗読も、総合福祉センターの対面朗読室・国領分館のおはなし室などで行っている。HCサービス長期計画の参考にするために、他市の図書館を見学した。

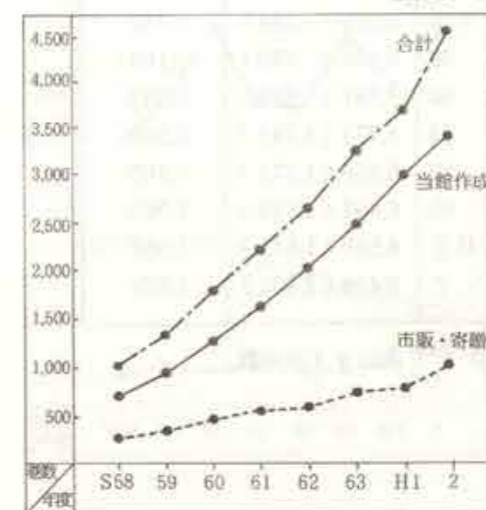
録音テープ所蔵巻数の推移

(表VII-1)

年度	当館作成	市販・寄贈	合 計
S58	735(208)	305(249)	1,040(457)
59	948(244)	390(320)	1,338(564)
60	1,276(260)	484(369)	1,760(629)
61	1,631(305)	581(405)	2,212(710)
62	2,031(362)	604(428)	2,635(790)
63	2,486(432)	747(479)	3,233(911)
H 1	3,012(509)	808(531)	3,820(1,040)
2	3,415(571)	1,129(667)	4,544(1,238)

○()内はタイトル数。

(図VII-1)

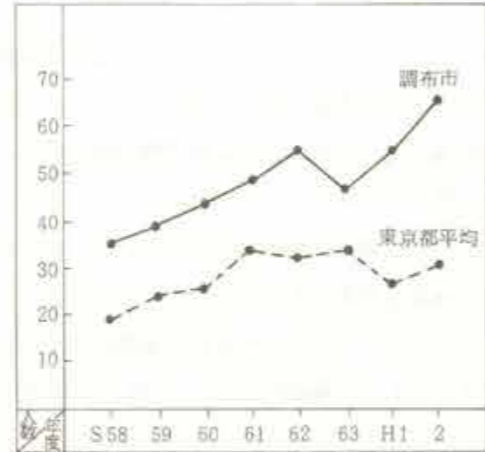


録音テープ利用者の推移

(表Ⅶ-2)

年度	調布市	東京都平均
S58	36	19
59	38	23
60	43	25
61	48	32
62	55	31
63	47	32
H1	55	26
2	65	30

(図Ⅶ-2)



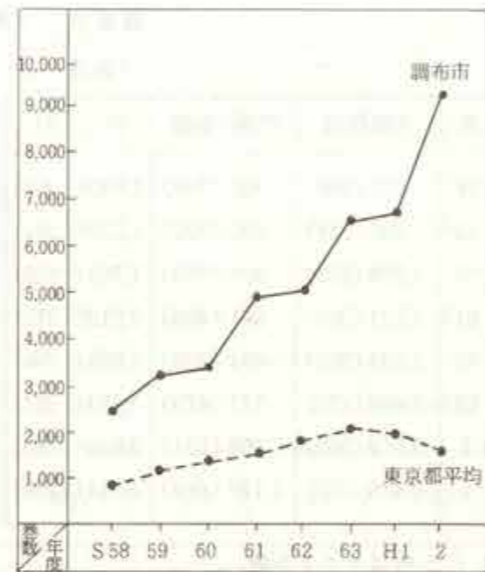
録音テープ貸出巻数の推移

(表Ⅶ-3)

年度	調布市	東京都平均
S58	2,253 (564)	745
59	3,180 (730)	1,163
60	3,391 (839)	1,353
61	4,774 (1,143)	1,564
62	5,026 (1,171)	1,765
63	6,497 (1,592)	1,969
H1	6,569 (1,871)	1,952
2	9,456 (2,405)	1,688

○ () 内はタイトル数。

(図Ⅶ-3)

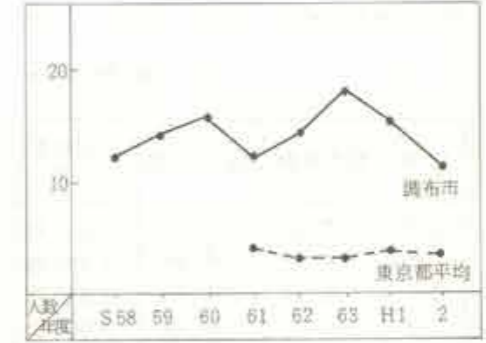


対面朗読利用者数の推移

(表Ⅶ-4)

年度	調布市	東京都平均
S58	12	—
59	14	—
60	15	—
61	12	4
62	14	3
63	18	3
H1	15	4
2	11	4

(図Ⅶ-4)

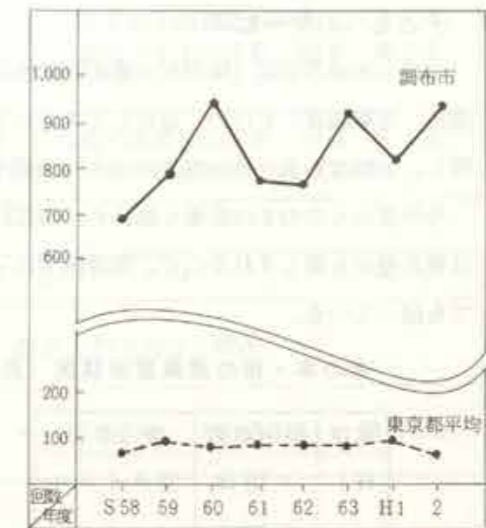


対面朗読実施回数の推移

(表Ⅶ-5)

年度	調布市	東京都平均
S58	699	61
59	791	87
60	932	70
61	781	69
62	773	71
63	916	73
H1	802	87
2	948	65

(図Ⅶ-5)



2 点訳サービス

昭和55年度から点訳ボランティア養成講座を実施している。今年度は点訳ボランティアが15人も増え、35人になった。作成された点字図書は、総合福祉センター（対面朗読室）に置いて利用に供している。また、新しいサービスとして立体コピー（文字や図形の浮き出るコピー）サービスを始めた。点字では判りにくいグラフや図を知るのに、活用されている。

点訳サービス実施状況 (表Ⅶ-6)

年度	利用者数	リクエスト数	点訳枚数 (両面)	点訳 ボランティア	点字本の所蔵	
					自館作成	寄贈
S62	7人	22件	2,637枚	28人	30タイトル64冊	109タイトル166冊
63	8人	31件	1,935枚	20人	30タイトル64冊	110タイトル172冊
H1	6人	32件	2,890枚	20人	30タイトル64冊	112タイトル174冊
2	10人	40件	3,000枚	35人	31タイトル67冊	115タイトル182冊

3 大型活字本・拡大写本サービス

平成元年度から新中央図書館用に大型活字本の収集を始めた。それらを国領分館で展示し貸出したところ、中・高年の市民に好評だった。今後はこの成果をふまえ、他の分館においても展示し、潜在的利用者の掘り起しをする必要がある。

拡大写本は、弱視者からの要望に応じて、昭和62年度から市内の拡大写本作成グループ*をよかぜ*に作成を依頼している。

4 子どもへのサービス

市内のあゆみ学園（障害児の通所訓練施設）で、おはなし会6回と団体貸出（布の本・布の遊具、児童図書）を行い、定着してきている。また第一小学校ひまわり学級（3クラス）を訪問し、おはなし会や布の本5タイトルの貸出しを行った。

今年度から布の本の収集を始めた。現在21タイトルを自館で所蔵している。布の本・布の遊具は健全児にも楽しめるので、図書館で行っている定例おはなし会や保育園児へのおはなし会でも使っている。

布の本・布の遊具貸出状況 (表Ⅶ-7)

年度	利用者数	貸出数
H1	1団体	22タイトル
2	2団体	44タイトル

さわる絵本貸出状況 (表Ⅶ-8)

年度	利用者数	貸出数
S61	2人	19冊
62	1人	18冊
63	1人	18冊
H1	1人	13冊
2	1人	4冊

5 PR活動

利用者の拡大を目指すため、市内在住の1・2・3級の視覚障害者に、利用案内・録音テープ目録を毎年作成し送付している。また、元年度より、声のお知らせを「オカリナ通信」と改めて発送しているが、たいへん好評で、東京都公立図書館長協議会作成の「新作情報」などから多くのリクエスト、レファレンスが寄せられている。

事業名	内容	備考
オカリナ通信	○新刊の紹介 ○新しいテープのお知らせ ○新着図書案内 など	利用者(50人) テープ版 毎月
図書館だより	○図書館発行の広報(全8ページ)	利用者(55人) テープ版 年4回
利用案内 録音テープ目録 (2年度版)	○福祉事務所の協力を得て市内在住の1・2・3級の方と現利用者(161名)に発送	墨字版 テープ版 点字版(希望者)年1回
市報への掲載	○利用案内 ○講座の案内	年1回

6 ボランティアの養成とボランティアグループ

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
朗読者・点訳者登録会	4月5日 35人 総合福祉センター	情報交換等の懇談とボランティアの登録手続
第5回初級点訳者養成講座	4月12日～7月26日 毎木曜(全15回) 29人 総合福祉センター	講師 日本点字図書館点訳者 調布ブライユ代表 樋本 道子氏
朗読者養成講座	10月12日 19人	講師 日本点字図書館朗読者 中島 久子氏 朗読者全体を対象に朗読技術について説明

グループ名	人数・定例日・会場	代表者	内容
調布ブライユ(点訳)	40人 第2・3木曜日 総合福祉センター	樋本 道子	打ち合せと校正
ちょうふ水曜会(朗読)	21人 第4水曜日 総合福祉センター	海道 ルミ	作製テープを聞きあい、講評する。

VIII 集会・学習活動

1 集会・学習活動の状況

調布市立図書館では、社会教育の実施機関として市民の生涯学習を促進するため、様々な事業を展開してきた。

現在行っている事業は、図書館が主催する事業と、図書館を拠点に活動している「調布ブッククラブ」の事業とに大別することができる。図書館は、話題性の高い作品などをテーマにした講演会や講座を中心に実施した。一方、調布ブッククラブは、市民の学習、創造の場として活動を行い、会員個々の生涯学習の確立に努めた。

なお、1年間の学習の総まとめとして、毎年2月に図書館と「調布ブッククラブ」の共催により「図書館まつり」を実施している。この祭典は19回目を数えたが、年々充実し、市民生活に根ざした展開を続けている。

2 行事

(1) 講演会

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
発会記念公開講演会	4月10日 40人 総合福祉センター	東洋大学教授 田村 晃祐 「最澄と山家学生式」
発会記念公開講演会	4月11日 40人 総合福祉センター	日本大学教授 曾根 博義 「伊藤整・井上靖の人と作品」
発会記念公開講演会	4月14日 40人 総合福祉センター	国際日本文化センター講師 鈴木 貞美 「昭和文学短編集を読む」
発会記念公開講演会	4月24日 40人 総合福祉センター	工学院大学名誉教授 松尾 靖秋 「芭蕉・蕪村の人と作品」
発会記念公開講演会	4月27日 40人 総合福祉センター	児童文学者 西本 鶏介 「子どもの本の流れと作家」
文化講演会	5月15日 60人 総合福祉センター	白百合女子大学教授 山極 圭司 「日本の黎明期と木下尚江」
文芸講演会	7月24日 50人 東洋信託銀行	作家 北原亞以子 「私の『春日局』」
文化講演会	9月7日 80人 総合福祉センター	富山県立大学教授 足立原 貫 「『植木鉢人生』と現代の文化」
文化講演会	10月6日 100人 総合福祉センター	掛川市長 榛村 純一 「まちづくり人づくり生涯学習」
講演会	10月9日 80人 総合福祉センター	新聞記者 外村 民彦 「新聞編集の明・暗」

(2) 座談会

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
座談会	6月6日 70人 総合福祉センター	演出家 若杉 光夫 「宇野重吉の世界」
文芸鼎談(座談会)	11月10日 60人 総合福祉センター	作家 島田 雅彦・三田 誠広 文芸評論家 鈴木 貞美 「文芸作品の現在・未来」
新春座談会	1月12日 100人 総合福祉センター	文芸評論家 大河内昭爾 作家 舞坂 あき 「文学と人生そして書くことの楽しみ」

(3) 講座

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
子どもの本に親しむ会	11月8日 30人 神代分館 11月9日 30人 佐須分館	指導 図書館職員 「本の読み聞かせ」

(4) 平和施策事業

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
国際識字年記念講演会	7月14日 60人 総合福祉センター	SVA事務局長 有馬 実成 「知られざる難民の現状」
平和祈念公演	8月9日 250人 グリーンホール(小)	歌手 高橋 エミ 映画「キクとイサム」と平和を祈る歌
国際平和名画鑑賞会	9月8日 200人 中央公民館ホール	「無人の野」(ベトナム映画)
朗読をたのしむ会	12月13日 100人 山田屋お米館	俳優 白井 正明 女優 七尾 伶子 「黒い御飯」「八郎」「活版屋の話」「蜜のあはれ」

(5) 映画会

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
名画鑑賞会	5月24日 300人 中央公民館ホール	「雁の寺」 原作 水上 勉、監督 川島 雄三 出演 若尾 文子、木村 功ほか
名画鑑賞会	6月16日 300人 中央公民館ホール	「山椒太夫」 原作 森 鷗外、監督 溝口 健二 出演 田中絹代、花柳喜章ほか

名画鑑賞会	10月24日 中央公民館ホール	350人	「雨月物語」 原作 上田 秋成、監督 溝口 健二 出演 京マチ子、森 雅之ほか
名画鑑賞会	12月7日 中央公民館ホール	350人	「氷壁」 原作 井上 靖、監督 増村 保造 出演 菅原謙二、山本富士子ほか
名画鑑賞会	3月22日 中央公民館ホール	300人	「あ・うん」 原作 向田 邦子、監督 降旗 康男 出演 高倉 健、富司純子ほか

3 第19回図書館まつり

主要テーマ「人から学び本から学ぶ、開かれた生涯学習をここに」

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
時局講演会	2月2日 200人 グリーンホール(小)	政治評論家 飯島 博 「中東情勢と日本の立場」
人形劇公演	2月3日 400人 グリーンホール(小)	人形劇団 れもん 座 「おきんとおためきさま」ほか
著者を囲む会	2月6日 100人 総合福祉センター	作家 村田喜代子 「白い山」
児童文学講演会	2月8日 100人 総合福祉センター	児童文学者 中川李枝子 「子どもの遊びの世界」
朗読の会	2月9日 200人 グリーンホール(小)	俳優 池田 一臣 女優 水原 英子 「高瀬舟」 「川とノリオ」
子ども映画会	2月10日 300人 中央公民館ホール	「モモ」 原作 ミヒャエル・エンデ
名画鑑賞会	2月14日 350人 中央公民館ホール	「舞姫」 原作 森 鷗外、監督 篠田 正浩 出演 郷ひろみほか
文化講演会	2月16日 200人 グリーンホール(小)	作家 加賀 乙彦 「脳死問題と私—自作『生きていく心臓』をめぐって—」
座談会	2月20日 150人 総合福祉センター	詩人 谷川俊太郎、白石かずこ 「ことばと詩」
第19回市民句会	2月22日 250人 グリーンホール(小)	「選評と俳話」 井沢 正江、黒田 杏子 澤木 欣一、飯田龍太ほか3師

文芸講演会	2月23日 100人 総合福祉センター	文芸評論家 秋山 駿 「大岡昇平の文学世界」
第18回市民歌会	2月24日 70人 総合福祉センター	「選評と講話」 片山 貞美、来嶋 靖生、宮地 伸一
講演会	2月28日 150人 グリーンホール(小)	声優 白井 正明 「ラジオと『君の名は……』」
筆蹟・横顔展	2月1日～2月19日 西友調布店	図書館を訪れた作家、評論家等の筆蹟と横顔展
俳句・短歌展	2月1日～2月16日 中央館	作品発表(俳句・短歌サークル会員)
日本画展	2月20日～3月7日 西友調布店	(指導 田中與之子) 日本画3サークルの作品発表

4 調布ブッククラブ

昭和48年2月に図書館を拠点とする学習サークルの連合体として発足した「調布ブッククラブ」は、「読むこと」「書くこと」そして「どう生きるかを考える」をテーマに学習を深め、相互啓発を図る幅広い事業を展開している。

平成2年度、新たに発足したサークルは「山家学生式を読む会」「昭和文学短編集を読む会」「芭蕉・蕉村を読む会」「伊藤整・井上靖を読む会」「子どもの本の流れを学ぶ会」の5つで、合計57のサークルが学習活動を行った。

なお、2年度の登録会員数は685人であった。

(1) 事業

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
たきおん公開創作合評会	5月13日 30人 総合福祉センター	社会教育指導員 林 一夫 文芸誌「たきおん25号」
朱彩会展	5月21日～6月2日 画廊サンマロー	日本画サークル「朱彩会」による発表(指導・田中與之子)
緑蔭日本画展	6月19日～7月1日 西友調布店	日本画3サークルによる合同作品発表 (指導・田中與之子)
ブッククラブ総会と座談会	6月26日 グリーンホール(小)	映画監督 岡本 愛彦 「何のために何を学ぶか」
彩雅会展	7月16日～7月28日 画廊サンマロー	日本画サークル「彩雅会」による発表 (指導・田中與之子)

夏の合同歌会	8月23日 市民センター	短歌6サークルによる合同歌会 片山 貞美、宮地 伸一
公開合同読書会	9月12日 若葉分館	文芸評論家 遠丸 立 「怪奇掌篇」(倉橋由美子著)
公開合同読書会	9月28日 市民センター	社会教育指導員 林 一夫 「ネコババのいる町で」(滝沢美恵子著)
たきおん公開 創作合評会	11月11日 総合福祉センター	社会教育指導員 林 一夫 文芸誌「たきおん26号」
秋麗日本画展	11月11日～11月27日 西友調布店	日本画3サークルによる合同作品発表 (指導・田中興之子)
人から学び本から学ぶ感謝の集い	12月21日 350人 中央公民館ホール	第19回図書館まつりに向けて 声楽家 大内寿恵磨 歌手 高橋 エミ
公開合同読書会	3月13日 若葉分館	文芸評論家 遠丸 立 「夢の島」(日野啓三著)

(2) 刊行物

刊行物名	発行日	内 容
文芸誌 「たきおん25号」	4月7日	創作サークル「たきおん」会員による文芸誌
句集 「多摩の横山」	7月3日	作句サークル会員による俳句集
歌集 「夕虹」	7月3日	短歌サークル会員による短歌集
随筆集 「扉(とびら)7号」	9月22日	創作サークル「随想を書く会」会員による随筆集
文芸誌 「たきおん26号」	10月14日	創作サークル「たきおん」会員による文芸誌
「91調布 カレンダー」	10月20日	版画家・関野準一郎の「奥の細道」の月曆
随筆集 「扉(とびら)8号」	3月16日	創作サークル「随想を書く会」会員による随筆集

(3) 読書グループ

サークル名	定例日・会場・会員数	講 師	チ キ ス ト
あすなる読書会	第2木曜日 午前 公民館ほか 9人	社会教育指導員 古田 耿介	「樹影」佐多稲子著「北の岬」辻 邦生著ほか9冊
柏 読 書 会	第4木曜日 午後 会員宅 7人	社会教育指導員 林 一夫	「明暗」「彼岸過迄」夏目漱石著 ほか8冊
古典文学を 読 む 会	第1土曜日 午後 若葉分館 15人	—	古典文学を題材に読書会を実施。 前半は「枕草子」、後半は「徒然草」
互葉読書会	第2水曜日 午後 若葉分館 7人	文芸評論家 遠丸 立	「怪奇掌篇」倉橋由美子著 「夢の島」日野啓三著ほか9冊
七宝読書会	第2水曜日 午前 富士見分館 9人	社会教育指導員 古田 耿介	「ゆきて還らぬ」瀬戸内晴美著 「花のれん」山崎豊子著ほか9冊
針布読書会	第3木曜日 午前 神代分館 13人	—	「奇妙な愛の物語」落合恵子著 「神々は渴く」アナトール・フラン ス著ほか9冊
清和読書会	第4木曜日 午前 富士見分館 7人	社会教育指導員 古田 耿介	「隅田川暮色」芝木好子著 「三四郎」夏目漱石著ほか9冊
つくし読書会	第3火曜日 午後 親交会館 7人	社会教育指導員 林 一夫	「腹の虫」中川一政著「女の差し 指」向田邦子著ほか9冊
読書会夜行列車	第2水曜日 夜間 中央館 10人	—	「俗物図鑑」筒井康隆著「アルジ ャーノンに花束を」ダニエル・キ イス著ほか10冊
白鳥読書会	第1木曜日 午前 神代分館 11人	社会教育指導員 古田 耿介	本年度は「伊勢物語」を読み進め た。
ひとむれを 読 む 会	第1土曜日 午後 会員宅 6人	職 員	谷昌恒著「ひとむれ」を読み、子 どもに対する教育を探った。
ふたば読書会	第4水曜日 午前 若葉分館 20人	社会教育指導員 古田 耿介	「蟹」河野多恵子著「山医者のお うた」見川鯛山著ほか8冊
芙蓉読書会	第3土曜日 午前 国領分館 8人	社会教育指導員 古田 耿介	「ひとつとや」竹西寛子著「松の 屋露八」吉川英治著ほか9冊
緑ヶ丘読書会	第4水曜日 午前 緑ヶ丘分館 8人	社会教育指導員 林 一夫	「お吟さま」今東光著「無罪と無 実の間」ジュフリー・アーチャー 著ほか9冊
宮の下読書会	第2火曜日 午前 宮の下分館 8人	社会教育指導員 林 一夫	「月と六ペンス」サマセット・モ ーム著「女のエピソード」沢沢龍 彦著ほか9冊
名作読書会	第2金曜日 午前 公民館ほか 17人	社会教育指導員 林 一夫	「アラスカ物語」新田次郎著「読 書する女」レイモン・ジャン著ほ か9冊

やまなみ読書会	第1火曜日 午前 深大寺分館 7人	社会教育指導員 古田 耿介	「京の川」水上勉著「茜いろの坂」 船山馨著ほか9冊
若菜読書会	第1・3水曜日 午後 若菜分館 12人	——	「源氏物語」を年間のテキストに 選び、学習会を実施。

(4) 研究グループ

サークル名	定例日・会場・会員数	講師	内容
赤彦・茂吉を 読む会	第3木曜日 午後 横浜銀行ほか23人	歌人 宮地 伸一	「白桃」「暁紅」などの作品によ って、茂吉の心の世界を探った。
伊藤整・井上靖 を読む会	第4水曜日 午後 横浜銀行ほか17人	日本大学教授 曾根 博義	伊藤整と井上靖の代表的な作品を とりあげ、それぞれの実像を探った。
近代史を学ぶ会	第2火曜日 午前 福祉センター14人	高崎芸術短大教授 萩原 祥三	近代史を明治維新から学習して、 日本の思想について考えた。
紅樓夢を読む会	第1・3木曜日午後 佐須分館 10人	——	「紅樓夢」のもつ面白さを、より 深く理解し、鑑賞した。
子どもの本の流 れを学ぶ会	第4金曜日 午前 東洋信託銀行ほか 14人	児童文学者 西本 鶏介	「赤い鳥」から現代の児童文学ま で、個々の作家を取り上げ、全体 の流れを学んだ。
山家学生式を読 む会	第2火曜日 午前 福祉センターほか28人	東洋大学教授 田村 晃祐	最澄が著した「山家学生式」を学 んだ。
昭和文学短編集 を読む会	第2土曜日 午後 市民センターほか19人	文芸評論家 鈴木 貞美	昭和を代表する作家の短編を取り 上げ、全体像を学んだ。
聖書を読む会	第2水曜日 午前 福祉センター17人	元立教女学院教授 赤司 道雄	マタイ伝、ルカ伝、マルコ伝を読 み、聖書の教えを学習した。
芭蕉・蕪村を読 む会	第4火曜日 午前 市民センターほか36人	工学院大学名誉教授 松尾 晴秋	松尾芭蕉と与謝蕪村に焦点を当て、 俳句の根本を学んだ。
枕草子を読む会	第4日曜日 午前 公民館ほか 11人	国文学者・歌人 片山 貞美	枕草子の解釈を通して、平安朝文 学について学習した。
万葉集を読む会	第3土曜日 午後 第百生命ほか25人	国文学者・歌人 片山 貞美	万葉集を読むことで、古典文学の 持つ深さを学習した。
民俗学入門の会	第1水曜日 午前 福祉センター29人	日本民俗学会会員 菊地 正	日本人の身近な生活に関わりをも つ伝承から民俗学を学習した。
論語を読む会	第4木曜日 午前 福祉センター23人	職員	世界的な古典である「論語」の素 読と解釈について学習した。

(5) 創作グループ

サークル名	定例日・会場・会員数	講師	内容
随想を書く会	第3土曜日 午前 神代分館 24人	社会教育指導員 林 一夫	文集「扉」7・8号の合評と、創 作について学習した。
たきおん	第2日曜日 午後 福祉センター15人	社会教育指導員 林 一夫	文芸作品を創作し、文芸誌「たき おん」を発行した。
童話創作の会	第3金曜日 午前 福祉センター6人	児童文学者 西本 鶏介	個々に童話を創作・発表し、その 作品について合評した。
みちくさ	第3木曜日 午前 深大寺分館 8人	職員	小説・短歌などの創作と合評を行 い、創作技術を探った。

(6) 俳句・短歌グループ

サークル名	定例日・会場・会員数	講師
火曜句会	第2火曜日 午後 神代分館 20人	俳人 緒方 梧葉
煌ら句会	第3金曜日 午後 公民館 25人	職員
金曜句会	第2金曜日 午後 公民館 14人	俳人 原田走日朗
合同句会	第3土曜日 午後 福祉センター 30人	職員
水曜句会	第4水曜日 午後 若菜分館 23人	俳人 丹生谷百合
たつくり句会	第3木曜日 午後 市民センター 14人	俳人 原田走日朗
い(にすい)句会	第2水曜日 午後 公民館 16人	俳人 下川 紀水
三木句会	第2木曜日 午後 市民センター 20人	職員
風舎句会	第2土曜日 午後 市民センター 20人	俳人 若月 瑞峰
みずき句会	第2金曜日 午後 市民センター 14人	職員
木曜句会	第1木曜日 午後 太平信用金庫 12人	俳人 齊藤 徳次
からすうり歌会	第2月曜日 午後 会員宅 13人	会員
水嶺歌会	第3金曜日 午後 公民館 21人	国文学者・歌人 片山 貞美
潮流歌会	第4日曜日 午前 福祉センター 20人	歌人 宮地 伸一
福寿草歌会	第3金曜日 午前 神代分館 13人	職員
三日月歌会	第4水曜日 午後 福祉センター 17人	歌人 来嶋 靖生
径歌会	第4日曜日 午後 福祉センター 19人	国文学者・歌人 片山 貞美

(7) 絵画グループ

サークル名	定例日・会場・会員数	内 容	講 師
彩 雅 会	第1・3火曜日 午前 福祉センター 14人	日 本 画	画家 田中與之子
朱 彩 会	第1・3土曜日 午前 福祉センター 13人	日 本 画	画家 田中與之子
碧 彩 会	第1・3土曜日 午後 福祉センター 15人	日 本 画	画家 田中與之子

(8) 放送番組で学習するサークル

サークル名	定例日・会場・会員数	内 容
古典講読の会	第2木曜日 午前 公民館 10人	ラジオ放送番組「古典講読」の源氏物語、枕草子 を聞き、古典文学の理解を深めた。指導 会 員

(9) 文学散歩同好会

回次	期日・場所・参加者	内 容	講 師
336	4月13日 山梨県 44人	桃の花咲く里、深沢七郎の「笛吹川」、鏑二の「甲斐わかひこ路」、靖の「風林火山」	山梨学院大学図書館員 石水 隆
337	5月16日 仙川 31人	實篤記念館の「白樺の文学」展と仙川寺町、糟嶺神社	調布市文化財専門委員 井上 明枝
338	5月28日～29日 佐渡 40人	新緑の佐渡外海府と尖閣湾の順二の「夕鶴」、鷗外、相川金山、版画村と小木	佐渡博物館長 磯部 欣三
339	6月15日 八王子市 50人	八王子の「絹の道資料館」と鎌水商人と道了堂	日本民俗学会会員 菊地 正
340	6月19日 長野県 48人	新緑の白井吉見の「安曇野」と碓山美術館、木下尚江の「良人の自白」とわさび田	碓山美術館長 一市 開平
341	7月12日 茨城県 37人	筑波山麓の横瀬夜雨、大伴旅人と長塚節生家と「土」の舞台、「平将門」の石下町	郷土史研究家 野口 幹男
342	7月18日 布田ほか 38人	調布八景を訪ねる、国領神社の千年藤と祇園寺、甲州街道の旧布田五宿	調布市文化財専門委員 井上 明枝
343	9月27日 飛田給 24人	調布八景を訪ねる、上石原若宮八幡と石薬師如来像、旧品川道	調布市文化財専門委員 井上 明枝
344	10月1日～2日 福井県 45人	秋麗の若狭路の水上勉の「一滴文庫」森鷗外の「山椒太夫」と天橋立	画 家 渡辺 淳
345	10月30日 山梨県 45人	清里の旧小河内村民開拓地と小淵沢の牧水と東君平童話館	高根村清里ハケ岳区長 山田博幸 同元区長 酒井久重

346	11月7日 横浜市 42人	横浜山手の吉川英治、中島敦、「海辺のきらめき」展の神奈川近代文学館	神奈川文学振興会参与 小山 文雄
347	11月26日 福島県 33人	初冬の阿武隈、草野心平の「天山文庫」と吉野せい、埴谷雄高、島尾敏雄の「いなかぶり」、直哉の福島浜通り	いわき市文化課長 佐藤喜勢雄 郷土史家 佐藤 良金
348	12月11日 深大寺 27人	調布八景を訪ねる、深大寺と高浜虚子らの文士と青淵神社、深大寺城址	調布市文化財専門委員 井上 明枝
349	1月10日 鎌倉 59人	新春の鎌倉の古刹、木下利玄の報国寺、杉本寺、釈迦堂口切通し	鎌倉文学館副館長 鹿兒島達雄
350	1月30日 千葉県 40人	犬吠岬の國木田独歩の「山林の子」と夢二、虚子、佐藤春夫、光太郎の「智恵子抄」の九十九里	銚子市文化財審議委員 永澤 謹吾
351	3月4日～5日 愛知県 40人	春の知多半島の広津和郎の「師崎行」と山頭火、小栗風葉と児童文学のメッカ半田の新美南吉	新美南吉顕彰会 大石 源三
352	3月29日 文京区 57人	樋口一葉・中島歌子の「萩の舎」と小石川後楽園、伝通院	文京区文化財調査員 戸畑 忠政



文学散歩風景

5 地域文庫

現在市内で活動している文庫は、ばたぼん文庫（代表・大柴 悠子）、たんぼぼ文庫（代表・山崎瑞江）の2文庫である。図書館からは、主に団体貸出をして協力している。分館整備にともない次第に文庫数が少なくなっているが、子どもの読書に関心をもつ市民のパワーを図書館としてどう活かしていくかが、今後の課題である。



子どもの本に親しむ会



講演会風景



16ミリ発声映写機操作認定講習会

IX 視聴覚ライブラリー

視聴覚教育活動の普及と視聴覚ライブラリーの利用促進を図るため、教材・機材を整備し、次の事業を実施した。

ニューメディアであるビデオは、一般家庭においてもかなり普及して来ている。この状況に対応するため、ビデオ機器を整備し、教材においては図書館事業である講演会の記録テープを作成、また、市販テープの収集にも着手し始めている。

1 事業

(1) 16ミリ発声映写機操作認定講習会

映写機の基礎的な構造の理解と操作技術の修得に重点を置いて、フィルムの取扱いや映写会の安全運営についても理解を深めるために講習会を実施し、市内各地域での視聴覚教育活動の普及と安全な映画会の開催に役立てた。

期 日	第1回	5月30日～6月1日	午前9時～午後3時
	第2回	6月22日	午後6時～午後9時
		6月23日	午後1時～午後6時
		6月24日	午前9時～午後5時

修了者 33人

(2) 16ミリ発声映写機検定

16ミリ映写機及びフィルムの安全利用のため、小・中学校、市内事業所等の保有する16ミリ映写機の機能等の検定を行った。また、この検定は年1回であるが、新規購入分の映写機については随時実施した。

期 日	6月28日～6月30日
検定台数	76台

(3) 16ミリフィルム試写と研修会

当ライブラリーの所蔵フィルムや試写フィルムを上映し、映画会のフィルム選定に役立つ内容とした。同時に、操作技術修得者を対象とする映写機操作の実習を実施し、フィルムと機材の安全利用の徹底を図った。また、機材・教材の利用案内と情報交換も積極的に実施した。

(4) 地域における映画会の指導・援助

映画会の開催、フィルムの選定に関する相談等、地域の視聴覚活動の窓口として、地域映画会の援助、育成を行った。さらに、研修会等を通じて映写機の安全操作、実際の映画会場の管理を指導し、映画会の開催に関する幅広い知識の普及に努めた。

(5) 都立多摩社会教育会館からの16ミリフィルムの配送

東京都立多摩社会教育会館では、市町村の利用団体に便宜を図るため、各市町村の視聴覚ライブラリー等を貸出し窓口として会館所蔵の16ミリフィルム(約2,230本)の配送サービスを行っており、当ライブラリーにおいてもこのサービスの利用が定着してきた。

2 視聴覚教材・機材の利用状況

平成2年度月別視聴覚教材・機材貸出数(表IX-1)

教材・機材	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	保有数 (3.31現在)
16ミリフィルム	35 (2)	38 (2)	39 (7)	98 (1)	46	56 (3)	42 (3)	67 (3)	43	42 (2)	60 (8)	53	619 (31)	359
16ミリ映写機	6	7	12	17	13	14	7	15	14	7	11	14	137	10
スライドフィルム	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	7	261
スライド映写機	1	1	2	4	2	3	2	3	4	0	3	5	30	7
8ミリ映写機	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4
オーバーヘッドプロジェクター(OHP)	0	1	3	0	0	0	3	0	0	1	0	0	8	3
スクリーン	3	6	7	4	6	2	6	1	5	2	4	10	56	12
暗幕	8	0	1	6	4	0	0	0	10	8	3	2	42	6
拡声装置	1	2	2	0	2	0	1	2	0	0	0	2	12	2
テープレコーダー	6	1	3	0	0	0	2	2	0	0	4	0	18	3

()内は都立多摩社会教育会館配送フィルム

平成2年度月別視聴覚教材・機材貸出団体別利用者数(表IX-2)

団体別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
官公署	220	373	608	307	308	432	1,046	175	106	87	179	602	4,442
図書館	298	254	567	83	638	458	265	243	1,117	253	838	438	5,352
幼稚園	98	559	0	1,458	780	220	305	766	980	649	800	453	7,068
保育園	60	0	120	608	0	228	0	100	103	0	162	373	1,754
児童館	706	931	518	1,017	135	515	414	434	961	397	855	430	7,313
小学校	0	756	121	0	0	0	0	208	0	78	211	0	1,374
中学校	0	0	0	342	0	0	400	0	442	0	0	0	1,184
高校・大学他	0	0	0	0	0	0	0	359	0	0	0	0	359
社会教育団体	118	0	165	529	171	49	205	1,677	0	0	498	477	3,889
福祉関係団体	0	0	160	24	120	300	200	14	120	0	0	15	953
地域団体	0	0	133	0	184	1,120	108	0	0	0	70	0	1,615
その他	45	23	163	280	16	376	36	0	289	168	7	57	1,460
計	1,545	2,896	2,555	4,648	2,252	3,698	2,979	3,976	4,117	1,632	3,620	2,845	36,763

平成2年度団体別16ミリフィルム貸出数(表IX-3)

(上段は件数、下段はフィルム数)

団体	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
官公署	件数	1	1	3	3	5	2	5	2	2	1	1	1	27
	フィルム数	1	1	5	5	14	5	13	3	2	1	1	1	52
図書館	件数	2	1	2	3	8	7	1	4	12	2	4	8	54
	フィルム数	2	1	2	4	13	7	1	11	15	4	9	17	86
幼稚園	件数	1	4	0	10	2	1	2	4	3	3	3	3	36
	フィルム数	3	6	0	22	4	2	4	13	4	8	8	5	79
保育園	件数	1	0	2	6	2	3	0	2	1	0	3	4	24(2)
	フィルム数	2	0	5	15	4	5	0	4	1	0	4	12	52(3)
児童館	件数	10	11	6	12	1	7	5	6	8	7	10	7	90(7)
	フィルム数	20	22	13	30	3	15	13	14	12	15	22	12	191(14)
小学校	件数	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	7(1)
	フィルム数	0	8	3	0	0	0	0	0	0	8	6	0	25(4)
中学校	件数	0	0	2	2	0	2	0	0	2	0	0	0	8
	フィルム数	0	0	2	2	0	4	0	0	3	0	0	0	11
高校・大学他	件数	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
	フィルム数	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	10
社会教育団体	件数	2	0	1	3	2	2	2	6	0	0	3	3	24(2)
	フィルム数	4	0	3	6	4	6	4	11	0	0	5	5	48(4)
福祉関係団体	件数	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	5(1)
	フィルム数	0	0	3	2	0	1	0	1	1	0	0	0	8(3)
地域団体	件数	0	0	2	0	2	2	2	0	0	0	2	0	10(1)
	フィルム数	0	0	3	0	4	7	7	0	0	0	5	0	26(3)
その他	件数	1	0	0	5	0	1	0	0	2	2	0	1	12
	フィルム数	3	0	0	12	0	4	0	0	5	6	0	1	31
計	件数	18	19	20	45	22	28	17	28	31	17	28	27	300(14)
	フィルム数	35	38	39	98	46	56	42	67	43	42	60	53	619(31)

()内は都立多摩社会教育会館配送フィルム

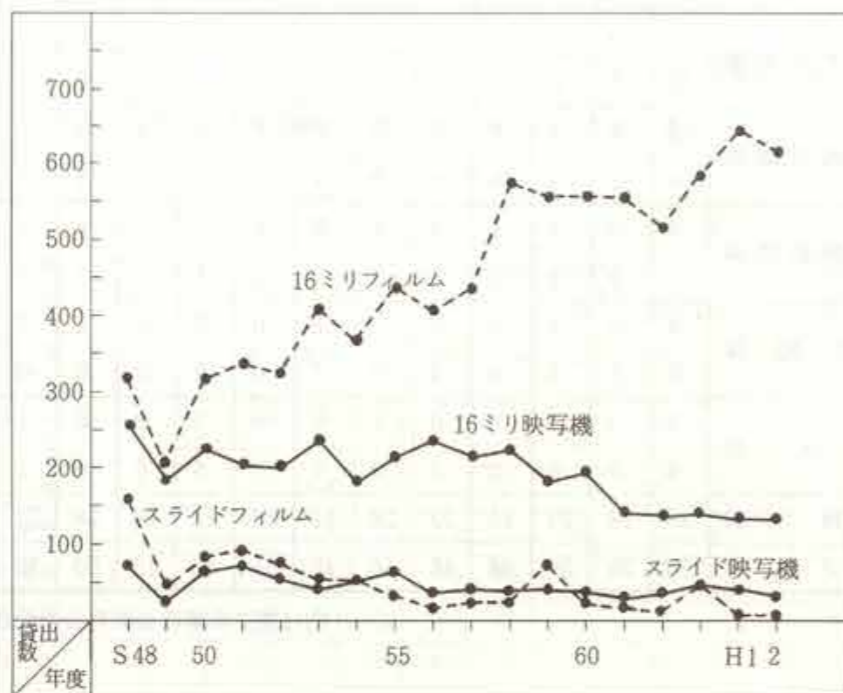
年度別視聴覚教材・機材保有数及び貸出数(表IX-4)

(上段は利用数、下段は保有数)

教材・機材	年度	S48	49	50	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1	2
16ミリフィルム	利用数	315	205	313	438	406	435	572	556	555	554	518	585	648 [25]	619 [31]
	保有数	75	94	122	194	207	218	234	244	256	274	291	315	333	359
16ミリ映写機	利用数	255	187	225	218	234	219	223	185	195	146	140	141	139	137
	保有数	5	5	6	8	8	8	9	9	10	10	10	10	10	10
スライドフィルム	利用数	158	42	86	32	19	25	25	72	27	20	17	45	7	7
	保有数			261	261	261	261	261	261	261	261	261	261	261	261
スライド映写機	利用数	70	26	64	69	39	40	39	40	39	24	37	49	41	30
	保有数	4	4	4	4	4	4	4	7	7	7	7	8	7	7
8ミリ映写機	利用数	29	22	20	16	17	33	16	5	5	3	3	5	2	1
	保有数	3	3	3	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4
オーバーヘッド プロジェクター	利用数		10	6	3	1	10	12	21	19	8	14	15	8	8
	保有数		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3

()内は都立多摩社会教育会館配送フィルム

年度別主要視聴覚教材・機材貸出数(図IX-1)



X 将来計画と新中央図書館構想

調布市立図書館は、開館以来、図書資料や事業をとらして市民生活の中に根をおろし、生涯教育をはじめ、様々な文化活動の場として定着している。社会教育施設の中でも利用率の高い施設の一つにあげられる。

それは、市民の図書館に対する期待が大きいということでもあり、それだけに図書館は市民の求めるものを的確にとらえて、時代に即応したサービスを提供していかなければならない。

現在、図書館では、市民のニーズを基本にして、蔵書の充実、施設の整備、新中央図書館建設などの計画を推進している。

特に新中央図書館は、市民の要望も多く、図書館機能のレベルアップ、そして単に図書館一施設だけの問題ではなく、市の社会教育行政の充実、市民文化の向上という点からも早期完成が望まれる。

今後の課題としては、基本計画に掲げられている計画をさらにおし進めるとともに、図書館の利用圏や市民の生活動線を再検討した分館体制の見直し、さらに、開館以来の歴史と活動の実績を貴重な財産としながらも、常に新鮮な目で図書館活動をみつめ、市民の要求に応えられる図書館づくりが必要である。

なお、新中央図書館は現在、次のテーマを基本理念として計画が進められている複合施設(仮称・市民文化プラザ)の一環として構想されている。

1 学習活動の場づくり

新しく学習すべき内容が次々に出現する時代にあって、「どこでも、だれでも、いつでも学べる」生涯学習の推進拠点とする。

2 文化活動の場づくり

地域の歴史や風土に根ざした個性的で特色のある調布文化の創造拠点とする。

3 ふれあいの場づくり

文化的豊かさを求める傾向は今後一層強まることから、文化活動を通じた人のふれあいから新しいコミュニティが形成される場とする。

4 健康増進の場づくり

より健康でありたいという市民のニーズの高まりの中で、乳幼児期から高齢期までの年齢に応じた保健事業を展開する場とする。

5 憩いのひろばづくり

市民に親しまれ、いつでも気軽に利用できる、市民の自由な憩いのひろばとする。

6 情報基地づくり

行政サービスや市民文化の向上を図るため、高度な情報機能を取り入れながら、行政及

び市民が相互に情報の提供や利用を行える情報システムを構築するなど、地域の情報化を進める拠点として構想する。

7 国際交流の場づくり

広く世界の人々と交流し、世界各国の様々な文化に対する認識を深めることにより、国際性を養い、また同時代にそれぞれの文化圏で生きる人々を理解することにより、国際平和と親善に寄与する場として構想する。

新中央図書館計画案の概要は次のとおりである。今後、複合施設の中で全体の調和を図りながら決定されることになる。

1 施設の機能及び基本的性格

25万冊の蔵書を持ち、市内10カ所の分館を有機的に結び、資料、調査、運営等にわたって図書館システムの総合調整機能を果たす中央図書館とする。

また、各種情報資料及びコンピュータによるデータベースの活用を図る等、先端技術を駆使して多様な情報提供サービスを展開する。市民の情報センターとしての性格を持つものとする。

2 各スペースの計画

(1) 4階 860㎡ 収容人員 450人

㊦ 一般開架室 560㎡

一般開架室は、新中央図書館のメインフロアを構成する最も重要な空間である。児童・高齢者を含む一般市民、職業人、研究者、学生、外国人等、多岐にわたる利用者が自由に利用できるよう配慮するとともに、障害を持つ人びとについても同様である。

4階部分の一般開架室のスペースは、図書（実用書、文学、旅行ガイド、文庫本等）、新聞、雑誌等からなる開架資料のスペース、資料検索コーナー、コピーサービス等で構成される。

(a) 機能

資料の閲覧、貸出、返却、複写、展示、検索、相談等、図書館資料に関する基本的な利用サービス及び提供を行う。

(b) 構成

図書	5万冊
新聞・雑誌コーナー	500誌 24席
資料閲覧コーナー	28席
利用者用端末	2台
コピー機	1台

(i) 児童室 300㎡

児童室の利用者は、幼児から中学生くらいまで幅広く、2～3段階の年齢層に応じたスペースを用意する。

書架は、120cm、4段程度を上限とし、机の形は、スペースの有効利用を考えた種々の組合せをするとともに、正しい姿勢での読書を基本とするため、椅子にも配慮する。

(a) 機能

資料の閲覧、貸出、返却、複写、展示、検索、相談等、図書館資料に関する基本的な利用サービス及び提供を行う。

(b) 構成

図書	2万冊
児童用閲覧コーナー	36席
利用者用端末	1台
おはなし室	50人（収容）

子どもたちに読書の喜びを知らせるために、読み聞かせや、お話をする部屋がおはなし室である。小学生以下の50人前後の子どもが入れるスペースを確保する。

なお、通常は親子で利用できる読書コーナーとして開放し、機能としては、おはなし会、小学生読書会、ミニ映画会、図書館主催の児童向け各種行事を行う。

(2) 5階 860㎡ 収容人員 300人

㊦ 一般開架室 460㎡

一般開架室は、4階と5階にそれぞれ振り分け5階部分には、やや専門的な分野の図書資料を中心に備える。

(a) 構成

図書	5万冊
資料閲覧コーナー	44席
利用者用端末	2台
コピー機	1台

(i) レファレンス室 400㎡

レファレンス室は、参考図書群、目録、新聞縮刷版、全国の電話帳、郷土資料、行政資料等により構成する。また、調査・研究にふさわしい静かな閲覧スペースを確保する。

(a) 機能

調査・研究のための資料提供、図書館資料に関する相談業務を行うとともに、調布市政に関する資料の収集及び提供等を行う。

(b) 構成

参考図書	1万冊
------	-----

郷土・行政資料コーナー	1万冊
資料閲覧コーナー	30席
利用者用端末	1台
コピー機	1台

(ウ) 映画関係資料コーナー

全国レベルでの映画関係資料その他の資料の収集を図り、保存を中心にしながらも、一部展示スペースを設けて公開する。

日本映画関係資料	1万冊
展示コーナー	

(3) 6階 860㎡

(ア) 朗読・点訳コーナー 120㎡ 収容人員200人

録音資料及び点字資料、対面朗読室、録音室等により構成する。また、作業スペースは、貸出、返却、郵送、録音、点訳等の事務や作業のほかに、利用者及びボランティアの人びととの打合せや相談にも使用する。

(a) 機能

通常の図書館サービスと同様のサービスを提供することを目的とし、おもに視覚障害者を対象とした諸事業を行う。

(b) 構成

対面朗読室	2室
録音室	2室
点訳奉仕ルーム	
資料閲覧コーナー	

(イ) 学習室 200㎡

(a) 機能

原則として、図書館資料を用意しないで、学習専用のスペースとして機能させる。その際、席の順番を待つ人の行列に配慮するとともに学生のための専用とせず、社会人も利用できるよう配慮する。

(b) 構成

学習用机	100席
社会人用机	20席

(ウ) 読書会室 96㎡

読書会室は市民の自発的な生涯学習と、その創造的活動とを援助するという図書館本来の活動の一環として設け、図書館のもつ資料とサービスとの関連のもとで読書会等の

集会活動の場として活用する。

(a) 機能

30人前後の集会活動が随時開催することができるよう2室を用意し、図書館を利用する市民の読書会等及び市民を対象とした諸事業を行う。

(b) 構成

読書会室	30席×2室
------	--------

(イ) 小会議室

20人程度の会議等多目的に使用可能なスペースとして活用する。

(a) 構成

会議室	20席
-----	-----

(ウ) 電算室 30㎡

調布市立図書館のすべての蔵書を電算によって管理し、資料管理の充実とサービスの質的向上を図るとともに、図書館電算システムの拠点とする。

(ウ) 選書室

出版物に直接あたって受入れの是非を決める等、購入予定図書や寄贈図書等多様な図書の選定を行うとともに、これらの図書の選定会議ができるようなスペースも確保する。

(イ) 装備室 48㎡

受入れの決定した図書資料について各館毎に、電算用ラベルや、分類ラベル、バーコードラベル等の図書装備を行う。

(ウ) 整理室 82㎡

図書、新聞、雑誌、その他図書館資料の受入れ、整理、除籍及び修理等を行うとともに、納入された図書等の荷解き、検品、配送荷造り作業(メール作業を含む)等を行う。

(ウ) 休憩コーナー

学習室、読書会室等の利用者がくつろぐスペースとして用意する。また、同時に展示スペースを用意し図書館からの情報提供の場として各種の企画展示を行う。

(4) 地下1階 400㎡

書庫 400㎡

閉架書庫は、開架スペースに収容できない資料(貴重書、利用頻度の低下したもの、その他開架できないもの)を一定期間保存するとともに、5年分の雑誌のバックナンバー、新聞、逐次刊行物を収容する。

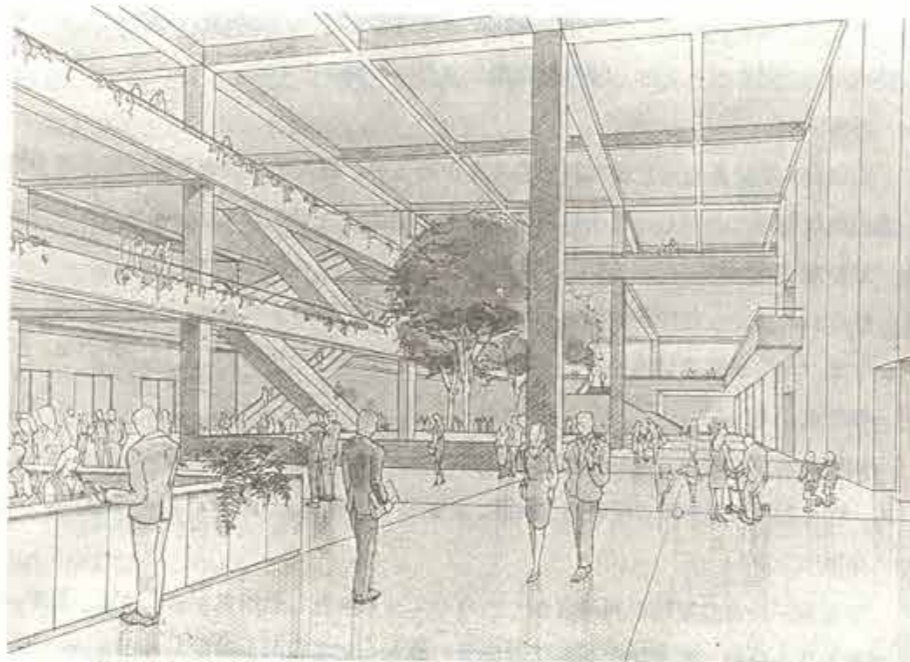
(a) 機能

開架部分の延長として、バックアップ機能を十分果たせるよう位置づける。また、スペースの有効活用を図るため書架は積層書架として下段を固定書架、上段を電動式

可動書架とする。

(b) 構成

固定書架	10万冊
電動式可動書架	15万冊



(仮称)市民文化プラザ 基本計画段階でのエントランスホール概観図

XI 資 料

1 運営組織

調布市立図書館の運営は、次に掲げる調布市の条例・規則によって定められている。さらに、条例等に基づいて、規程や要綱が設けられており、日常の図書館活動を管理、運営している。

- (1) 調布市立図書館設置条例（昭和41年3月30日条例第10号）
- (2) 調布市立図書館館則（昭和41年3月30日教育委員会規則第1号）
- (3) 調布市立図書館処務規程（昭和41年3月30日教育委員会規程第1号）
- (4) 調布市立視聴覚ライブラリー運営要綱（昭和41年11月1日教育委員会要綱）
- (5) 調布市立図書館録音テープ図書貸出要綱（昭和41年11月1日教育委員会要綱第3号）
- (6) 調布市立図書館集會室使用基準（昭和41年11月1日教育委員会基準）
- (7) 調布市立図書館協力員に関する内規（昭和50年4月1日教育委員会内規）

2 分掌事務

庶務係

- (1) 公印の保管に関する事。
- (2) 文書の收受、発送に関する事。
- (3) 施設、設備の維持管理に関する事。
- (4) 企画運営統計及び調査に関する事。
- (5) 関係各機関との連絡に関する事。
- (6) 予算の編成及び執行に関する事。
- (7) 館内の取締りに関する事。
- (8) その他、他係に属さない事項に関する事。

図書係

- (1) 図書資料並びに視聴覚資料の収集、整理、保管及び利用に関する事。
- (2) 製本及び資料の修理に関する事。
- (3) 読書案内及び読書相談に関する事。
- (4) 読書会、研究会、講演会、映写会、鑑賞会等の開催及び奨励に関する事。
- (5) 郷土資料に関する事。
- (6) 図書室の利用及び管理に関する事。
- (7) 図書資料の相互貸借に関する事。

3 開館日と休館日

館別	開館時間	休館日
中央館	日・水・木・金曜日 10時30分～17時30分	月曜日 第3日曜日 第4金曜日
	火・土曜日 10時30分～19時00分	
分館	毎日 13時00分～17時00分	
	ただし若葉分館のみ日曜日は 10時30分～17時00分	

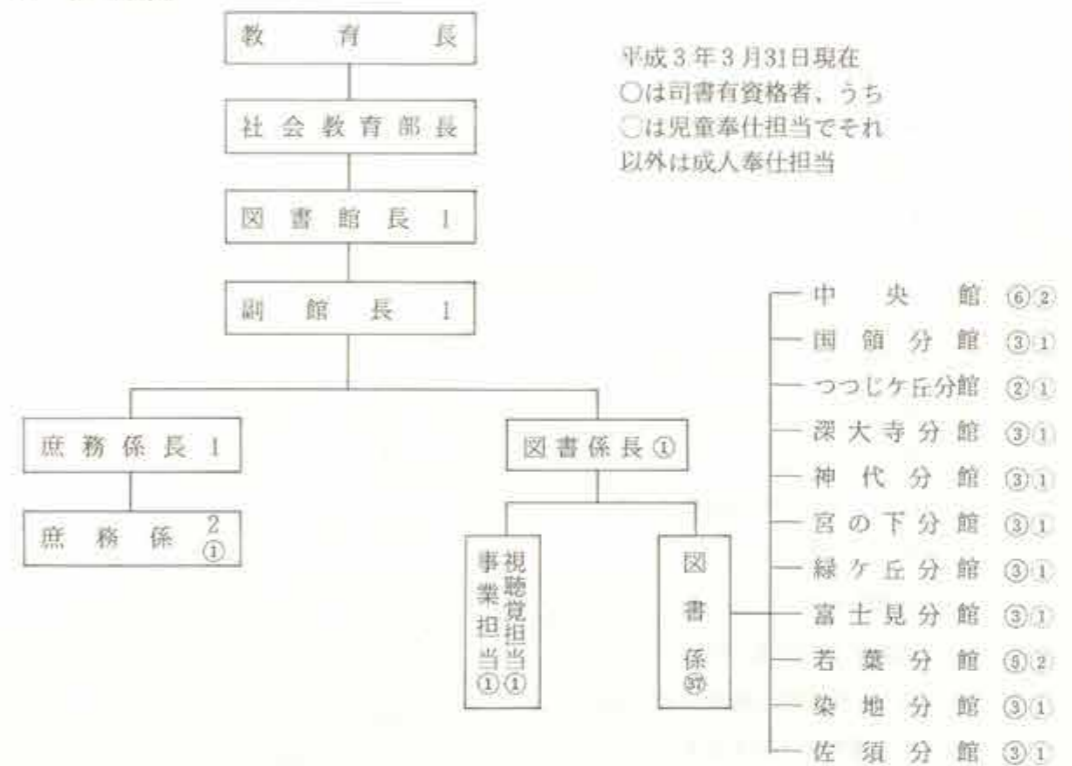
○休館日はこのほかに、国民の祝日（この日が月曜日の場合は翌日）
 年末年始
 臨時休館（その都度お知らせする）

4 開館日数と開館時間

平成2年度

館	月												合計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
開館日数	中央館	22	22	24	24	25	22	23	22	22	20	21	24	271
	緑ヶ丘分館	21	0	0	0	25	22	23	22	22	20	21	24	200
	国領分館	22	19	15	24	25	22	0	0	22	20	21	24	214
	富士見分館	22	19	15	24	25	15	0	0	0	0	0	8	128
	他の分館	22	19	15	24	25	22	23	22	22	20	21	24	259
開館時間	中央館	166	166	181.5	181.5	187	166	174.5	163	166	150.5	157.5	181.5	2,041
	緑ヶ丘分館	84	0	0	0	100	88	92	88	88	80	84	96	800
	国領分館	88	76	80	96	100	88	0	0	88	80	84	96	856
	富士見分館	88	76	60	96	100	60	0	0	0	0	0	32	512
	若葉分館	100	88	72	112	112	100	104	100	96	92	96	112	1,184
合計	各館1月当り	88	76	60	96	100	88	92	88	88	80	84	96	1,036
	合計	528	456	360	576	600	528	528	528	480	504	576	6,216	
合計	開館日数	241	193	159	240	275	235	207	198	220	200	210	240	2,626
	開館時間	1,054	862	733.5	1,061.5	1,199	1,030	922.5	879	966	882.5	925.5	1,093.5	11,809

5 組織図



6 年度別職員数の推移

(数値は3月31日現在)

年度	館長	副館長	係長	事務職	中央館司	分館司	小計	名譽館長	その他	合計
S41	(兼)1			2	2		5	1	1	7
42	1			2	4		7	1	1	9
43	1		1	2	4		8	1	2	11
44	1		2	2	4	2	11	1	2	14
45	1		2	2	4	4	13	1	2	16
46	1		1	2	4	8	16	1	2	19
47	1		1	4	5	10	21	1	3	25
48	1		1	4	6	10	22	1	4	27
49	1		1	5	5	18	30	1	6	37
50	1	1	1	6	5	20	34	1	8	43
51	1	1	1	6	6	20	35	1	7	43
52	1	1	2	5	6	22	37	1	6	44
53	1	1	2	5	6	23	38	1	8	47
54	1	1	2	5	6	24	38	1	8	47
55	1	1	2	5	6	27	41	1	8	50
56	1	1	2	5	6	27	41	1	7	49
57	1	1	3	3	7	30	44	1	7	52
58	1	1	3	3	7	31	45	1	8	53
59	1	1	3	3	7	31	45	1	8	53
60	1	1	3	3	8	31	46	1	8	54
61	1	1	3	3	8	31	46	1	8	54
62	1	1	2	3	8	31	46	1	8	54
63	1	1	1	3	8	31	45	1	9	54
H1	1	1	2	3	8	31	46	1	15	61
2	1	1	2	3	8	31	46	1	15	61

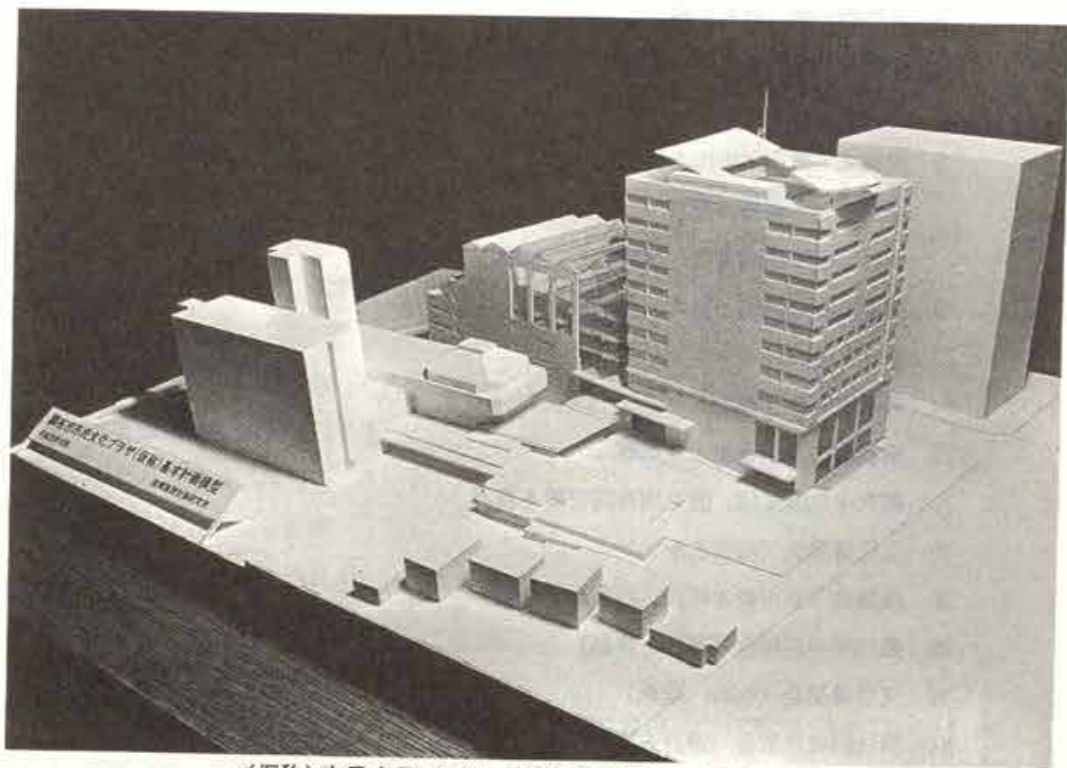
○その他とは、協力員、委託要員、嘱託、社会教育指導員。
 ○事務、司書は職種別人数（管理職、係長を除く）。
 ○係長は主査を含む。

XII 年 表

平成2年度のあゆみ

- 4/ 1 協力員10人委嘱
 - 5 朗読・点訳ボランティアの集い
- 12 初級ボランティア講座(延15回) ~ 7/26
- 27 緑ヶ丘分館、改修工事のため臨時休館(西野建設) ~ 7/31
- 5/ 6 協力員1人委嘱
 - 15 文化講演会(山極圭司氏)
 - 24 名画鑑賞会「雁の寺」
 - 28 特別整理(曝書) 富士見・染地・佐須 ~ 6/11
 - 30 16ミリ発声映写機操作認定講習会 ~ 6/1
- 6/ 6 座談会(若杉光夫氏)
 - 16 名画鑑賞会「山椒太夫」
 - 22 講演会(西本鶏介氏)
 - 16ミリ発声映写機操作認定講習会 ~ 6/24
 - 26 文化講演会(岡本愛彦氏)
 - 27 講演会(曾根博義氏)
 - 30 三鷹市立図書館より視察
- 7/ 7 協力員1人委嘱
 - 14 国際識字年記念講演会(有馬実成氏)
 - 24 文芸講演会(北原亜以子氏)
- 8/ 9 平和祈念公演(高橋エミ氏)
- 9/ 5 浦安市立図書館を視察
 - 7 文化講演会(足立原貫氏)
 - 8 国際平和名画鑑賞会「無人の野」
 - 11 北区立中央図書館を視察
 - 21 富士見分館、改修工事のため臨時休館(アシザワ建設) ~ 3/22
- 10/ 1 国領分館、改修工事のため臨時休館(大気冷熱) ~ 11/30
 - 2 協力員1人委嘱
 - 6 文化講演会(榛村純一氏)
 - 9 講演会(外村民彦氏)
 - 20 調布カレンダー頒布

- 10/24 名画鑑賞会「雨月物語」
- 11/ 2 町田市立図書館を視察
 - 8 児童文学講座(子どもの本に親しむ会)(延2回) ~ 11/9
 - 10 文芸鼎談(三田誠広氏、島田雅彦氏、鈴木貞美氏)
- 12/ 7 名画鑑賞会「水壁」
 - 13 朗読をたのしむ会(臼井正明氏、七尾伶子氏)
- 1/12 新春座談会(大河内昭爾氏、舞坂あき氏)
 - 協力員1人委嘱
 - 24 東大和市立図書館より視察
- 2/ 1 作家・評論家・芸術家などの筆蹟・横顔展 ~ 2/19
 - 2 第19回図書館まつり ~ 3/7
 - 時局講演会(飯島 博氏)
 - 3 人形劇公演(れもん座)
 - 5 藤沢市立図書館、厚木市立図書館を視察
 - 6 著者を囲む会(村田喜代子氏)
 - 8 児童文学講座(中川李枝子氏)
 - 浦安市立図書館を視察
 - 小平市立中央図書館、東村山市立秋津図書館を視察
 - 9 朗読の会(池田一臣氏、水原英子氏)
 - 10 子ども映画会「モモ」
 - 14 名画鑑賞会「舞姫」
 - 15 相模原市立図書館より視察
 - 都立中央図書館、国立国会図書館を視察
 - 16 文化講演会(加賀乙彦氏)
 - 20 座談会(谷川俊太郎氏、白石かずこ氏)
 - 22 第19回市民句会(選評と俳話)
 - 23 文芸講演会(秋山 駿氏)
 - 24 第18回市民歌会(選評と講話)
 - 26 大津市立図書館を視察
 - 27 八日市市立図書館を視察
 - 28 講演会(臼井正明氏)
- 3/22 名画鑑賞会「あ・うん」



(仮称)市民文化プラザ 基本計画段階での概念模型

平成3年版
数字で見る図書館活動

平成3年9月30日 発行

編集・発行

調布市立図書館

数字で見る図書館活動編集委員会

〒182 調布市布田4-17-5

電話 0424(81)7661

印刷 関セイコー社

